九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」TEMDEC (Telemedicine Development Center of Asia)活動報告 : 第12巻

https://doi.org/10.15017/4403545

出版情報：「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」 TEMDEC活動報告. 12, 2016-03. TENDEC Office
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

2) 写真レポート

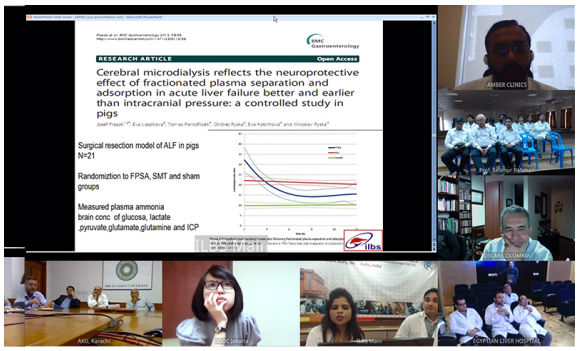
#514　第 39 回 APAN 会議 肝臓　　2015.03.02

【イベント名】
第 39 回 APAN 会議 肝臓

【期日】2015.03.02

【会場】
福岡国際会議場（日本），肝胆道科学センター（インド），インドネシア大学（インドネシア），アーガー・ハーン大学（パキスタン），バンガバンドゥシェイク・ムジブ医科大学（バングラデシュ），エジプト肝臓医療センター（エジプト），アンバークリニック　（アル・リガ）（アラブ首長国連邦），ノーク　国立感染症臨床病院（アルメニア），小児心臓病財団（コロンビア）

【概要】
インドの肝胆道科学センターが企画したこのセッションには9施設からの参加があり、当施設からの3症例報告に加え、パキスタンから1つの発表が行われた。集中治療室のおける重症肝疾患をテーマに、急性肝不全に対する対処や肝硬変のH1N1インフルエンザの関与などについて議論が交わされた。鮮明な映像とは対照的に音声の不安定さは残ったものの、非常に教育的で活発な意見交換がなされた有意義な会となった。



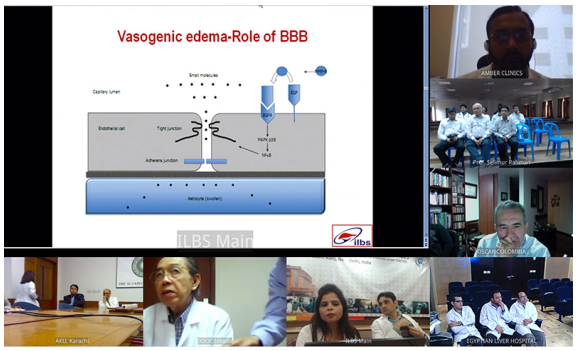
ILBSより提示されたスライド(左上)。

撮影場所：福岡国際会議場



発表を行うILBSの医師(左上)。

撮影場所：福岡国際会議場



ILBSより提示されたスライド(左上)。

撮影場所：福岡国際会議場



発言するバングラデシュの医師(左上)。

撮影場所：福岡国際会議場



参加者たちの様子。

撮影場所：福岡国際会議場



福岡国際会議場での会場の様子。

撮影場所：福岡国際会議場

#515　第 39 回 APAN 会議 胎児医療 1　2015.03.03

【イベント名】
第 39 回 APAN 会議 胎児医療 1

【期日】2015.03.03

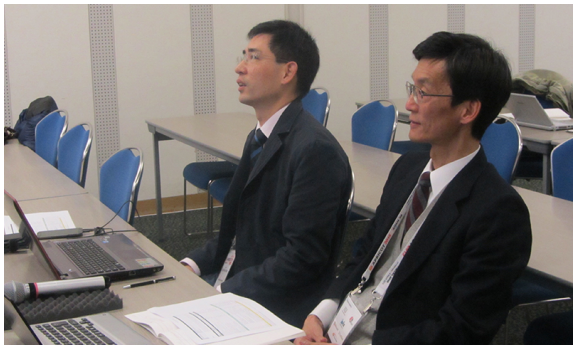
【会場】
福岡国際会議場（日本），香港大学（香港），バックマイ病院（ベトナム），国立シンガポール大学（シンガポール），ユビテック（日本），国立台湾大学（台湾），マヒドン大学シリラ病院（タイ），セベラス・マレット大学　Moewardi 病院（インドネシア），香港大学（香港），東北大学（日本）

【概要】
今回は日本での学会開催となったことから、モデレータのAlbertさんや九州大学の清水医師が福岡の会場からリードする形でスタートした。今回はVidyoシステムの日本代理店であるユビテック社より国立成育医療研究センターが8K内視鏡画像のプレゼンを行った。また、同システムを用いた胎児心臓セミナーを数多く開催している川瀧医師が東北大学より飛び入りで参加した。各国からのプレゼンやディスカッションでは、ほとんど映像や音声が途切れることなく、最新の発表に対して熱のこもった議論がなされ、セッションはほぼ時間通りに無事終了した。



ユビテックから参加した国立成育医療研究センター医師。

撮影場所：九州大学病院



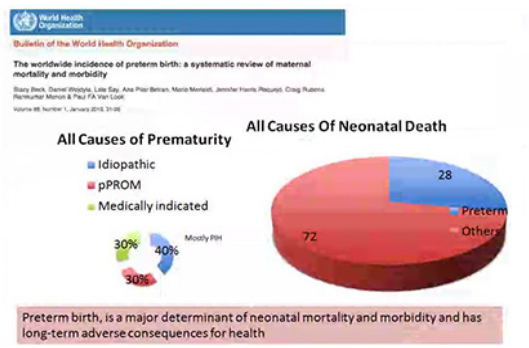
モデレータのAlbertさん（左）とDr. 清水（右）。

撮影場所：福岡国際会議場



セベラス・マレット大学より提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



セベラス・マレット大学より提示されたスライド。

撮影場所：九州大学病院



会場のスクリーンとモニターに映し出される参加者ら。

撮影場所：福岡国際会議場



Vidyoで遠隔接続する参加者の様子。

撮影場所：九州大学病院

#516　第 39 回 APAN 会議 肝胆膵　2015.03.04

【イベント名】
第 39 回 APAN 会議 肝胆膵

【期日】2015.03.04

【会場】
福岡国際会議場（日本），ソウル大学ブンダン病院（韓国），GB パント病院（インド），カトマンズモデル病院（ネパール），ビエット　ドゥック　病院（ベトナム），サンウェイ・メディカル・センター（マレーシア），北京がんセンター（中国），国立腎臓・移植センター（フィリピン），千葉大学（日本），東北大学（日本），北海道大学（日本），アイルランガ大学（インドネシア），マラヤ大学（マレーシア），セントルークス医療センター（ケソン市）（フィリピン）

【概要】
今回は腹腔鏡下肝切除術のテーマで、１４施設が参加した。フィリピンの国立腎移植センターとセントルークス医療センターの２か所が初めて接続された。韓国、フィリピンからそれぞれ１症例、日本から２症例が動画を交えて提示された。多くの施設が同時に参加したにもかかわらず、画像や音声にも大きなトラブルはなく終了した。



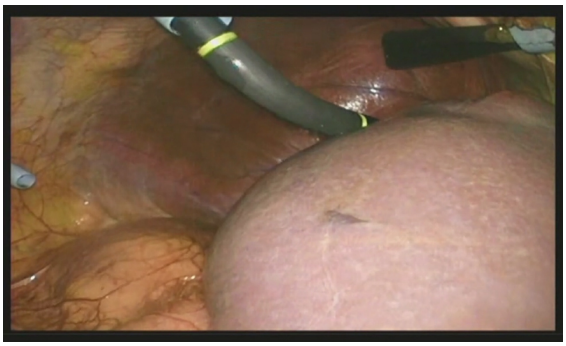
本セッションの座長のDr. Han (中央)とDr. 中村（左)。

撮影場所：九州大学病院



千葉大学での会場の様子。

撮影場所：千葉大学



提示された内視鏡映像。

撮影場所：九州大学病院



発言を行う北海道大学のDr. 平野。

撮影場所：北海道大学



Vidyoで接続する参加者ら。左上はカトマンズモデル病院。

撮影場所：九州大学病院



福岡国際会議場の様子。

撮影場所：福岡国際会議場

#518　第 39 回 APAN 会議 内視鏡　　2015.03.04

【イベント名】
第 39 回 APAN 会議 内視鏡

【期日】2015.03.04

【会場】
福岡国際会議場（日本），九州大学病院（日本），アサン医療センター（韓国），チャンギ総合病院(シンガポール)，チョーライ病院（ベトナム），グローバルホスピタル（ムンバイ）（インド），名古屋大学（日本），肝胆道科学センター(インド)，ディーナナス・マンゲッシュカー病院（インド），マレーシアプトラ大学（マレーシア），タン トク セン病院（シンガポール），マラヤ大学（マレーシア）

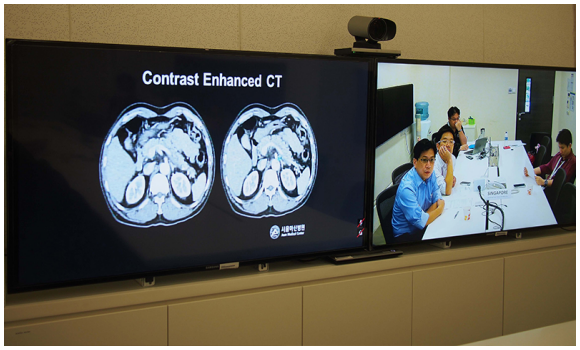
【概要】
タン・トク・セン病院やマレーシアプトラ大学病院など、4つの医療施設が新たに参加する中で、和やかな雰囲気と共にテレカンファレンスが開催された。提示された症例はいずれも興味深く、教育的なものばかりであった。今回はVidyoシステムが使用され、初めて参加する施設もあったが、十分なテスト接続と事前に集められた動画像を九州大学から送ることにより、映像や音声にも問題は少なく素晴らしい会となった。



本セッションの座長のDr. Ho (左から2番目)。
撮影場所：マラヤ大学



肝胆道科学センターでの会場の様子。
撮影場所：肝胆道科学センター



モニターに表示されるCT画像。
撮影場所：タン トク セン病院



名古屋大学の会場の様子。
撮影場所：名古屋大学



九州大学では世界中からの研修医らが参加した。
撮影場所：九州大学病院



接続された８地点。左上はチャンギ総合病院。
撮影場所：九州大学病院

#519　第 39 回 APAN 会議 Soft Cadaver　2015.03.05

【イベント名】
第 39 回 APAN 会議 Soft Cadaver

【期日】2015.03.05

【会場】
福岡国際会議場（日本），マヒドン大学シリラ病院（タイ），チュラロンコン大学（タイ），バジラ病院（タイ），タン トク セン病院（シンガポール），カリフォルニア大学サンフランシスコ校　医療センター（アメリカ合衆国），バレー病院　医師自宅：リッジウッド（アメリカ合衆国），東京医科歯科大学（日本），九州大学病院（日本）

【概要】
献体を用いた内視鏡外科手術のトレーニングについてのテレカンファレンスが企画された。今回は主に消化器疾患に対する手術が対象で、胃切除術、大腸切除術、アカラジアに対する手術などが動画と共に示され、各接続施設からは多くの質問やコメントが出された。カリフォルニア大学サンフランシスコ校は今回初めての参加となった。



マヒドン大学シリラ病院の会場の様子。
撮影場所：福岡国際会議場



福岡国際会議場に映し出される手術映像。
撮影場所：福岡国際会議場



タン トク セン病院の会場の様子。
撮影場所：タン トク セン病院



バジラ病院の会場の様子。
撮影場所：福岡国際会議場



福岡国際会議場の様子。
撮影場所：福岡国際会議場



モニターに映し出される8地点の参加者。
撮影場所：福岡国際会議場

#520　第 39 回 APAN 会議 歯科　　2015.03.05

【イベント名】
第 39 回 APAN 会議 歯科

【期日】2015.03.05

【会場】
福岡国際会議場（日本），九州大学病院（日本），鹿児島大学（日本），九州歯科大学（日本），東京医科歯科大学（日本），ハラパンキタ小児医療センター（インドネシア），アイルランガ大学（インドネシア），インドネシア大学（インドネシア）

【概要】
第２回目となる歯科のプログラムは、前回に引き続き口唇口蓋裂がテーマとして取り上げられた。新たにインドネシアからインドネシア大学、アイルランガ大学が加わり、施設紹介と症例提示が行われた。今回は新たな試みとして回線を利用した言語治療の診察を実際に行い、ディスカッションが行われた。



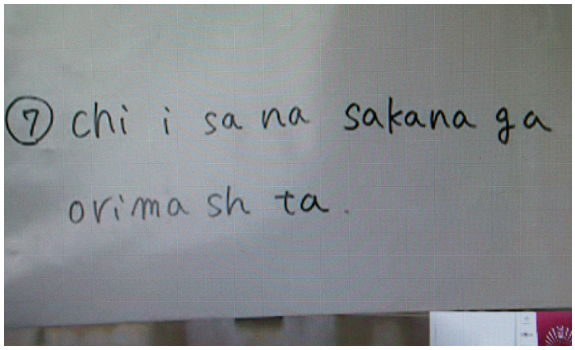
モニターに表示される８地点。
撮影場所：九州大学病院



提示された乳児の症例写真。
撮影場所：九州大学病院



スピーチセラピスト（中央）による遠隔診断が行われた。
撮影場所：九州大学病院



発声練習の文章。
撮影場所：九州大学病院



インドネシアにて発声をする患者。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院から参加したDr. 光安（中央）。
撮影場所：九州大学病院

#521　第５回 ラテンアメリカテレカンファレンス　2015.03.12

【イベント名】
第５回 ラテンアメリカテレカンファレンス

【期日】2015.03.12

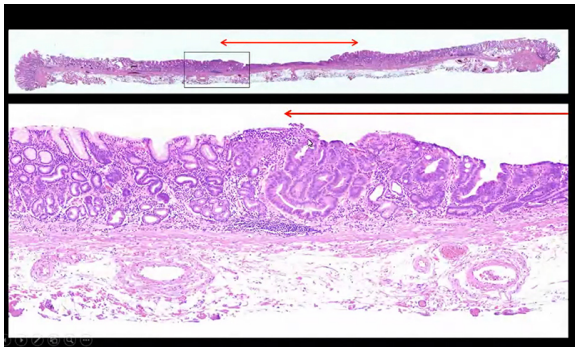
【会場】
九州大学病院（日本），大阪府立成人病センター（日本），メキシコ国立自治大学　医師自宅:メキシコシティ（メキシコ），グアダラハラ大学（メキシコ），国立警察病院　医師自宅:ボゴタ（コロンビア），アレマナ病院（チリ），カリ・ザビエル大学（コロンビア），サンパウロ大学　医学部医師自宅:サンパウロ（ブラジル），ボリビア・日本消化器センター（ボリビア），コスタ・リカ大学（コスタリカ）

【概要】
ラテンアメリカとのテレカンファレンスも５回目を迎えた。今回は大阪成人病センターのDr. 上堂のレクチャーに続き、ラテンアメリカの４つの施設から胃癌の症例提示が行われた。いずれも興味ある症例であったが、限られた時間のために十分な議論が出来なかった感がある。次回はもう少し時間配分を考慮すべきと思われた。初めて接続したコスタリカ大学の状況もまずまずで、またアレマナ病院やサンパウロの接続状況は以前よりもかなり改善していた。



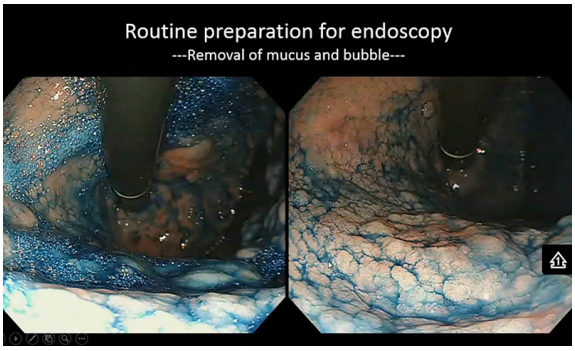
大阪府立成人病センターのDr.上堂から講義が行われた。

撮影場所：九州大学病院



提示された病理画像のスライド。

撮影場所：九州大学病院



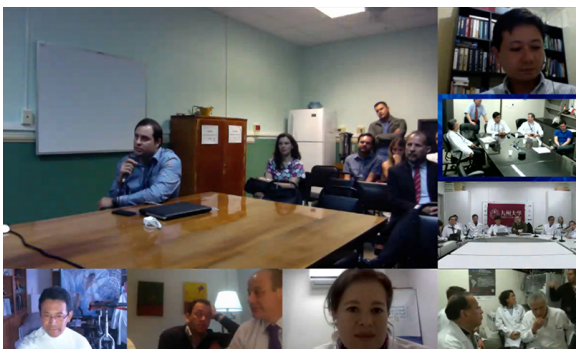
前処置の違いについて説明された内視鏡のスライド。

撮影場所：九州大学病院



アレマナ病院から参加するドクターら。

撮影場所：九州大学病院



モニターに表示される参加者ら。

撮影場所：九州大学病院



コスタ・リカ大学での会場の様子。

撮影場所：コスタ・リカ大学

#523　ウガンダとのテレカンファレンス　2015.3.26

【イベント名】
ウガンダとのテレカンファレンス

【期日】2015.3.26

【会場】
九州大学病院（日本),
マケレレ大学（ウガンダ),
福井大学（日本）

【概要】
福井大学・馬場教授の長年に渡るマケレレ大学との整形外科分野における国際交流の実績を元に、今回初めてのテレカンファレンスを企画した。馬場教授の現地訪問に合わせて九大チームも現地入りし、マケレレ大学の技術スタッフとの打合せを行った。病院からのネットワークが不十分であることがわかり、急遽ウガンダの学術ネットワークであるRENUオフィスからの接続となったが、接続状況は頗る良好で今後の更なる発展が楽しみである。



画面に映し出された福井大学（左）とマケレレ大学（右）。
撮影場所：九州大学病院



ウガンダ・マケレレ大学の会場の様子。
撮影場所：マケレレ大学



マケレレ大学での受信画面。
撮影場所：マケレレ大学



提示されたMRI画像のスライド。
撮影場所：九州大学病院



マケレレ大学ムラゴ病院。
撮影場所：マケレレ大学



Dr. 馬場（右から２番目）と九大チームの記念写真。
撮影場所：マケレレ大学

#524　第 5 回 筑波大学とチョーライ病院のテレカンファレンス　2015.3.26

【イベント名】
第 5 回 筑波大学とチョーライ病院のテレカンファレンス

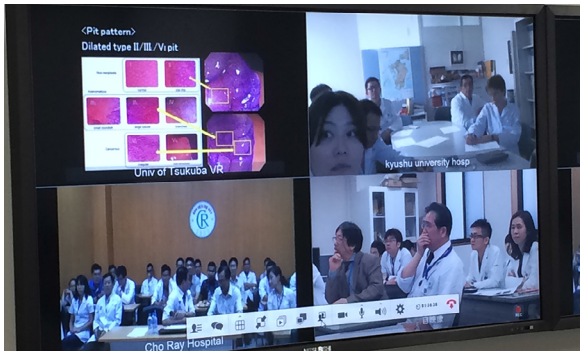
【期日】2015.3.26

【会場】
筑波大学（日本),
チョーライ病院（ベトナム),
九州大学病院（日本）

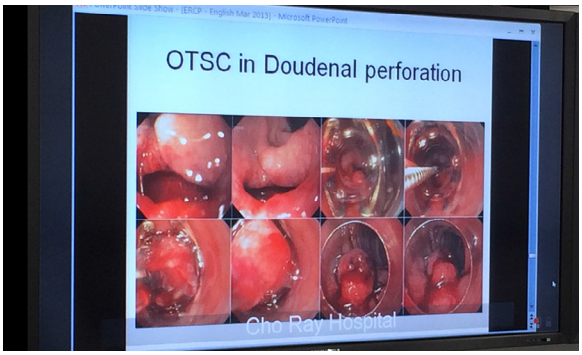
【概要】
平成27年3月26日筑波大学附属病院、ベトナム・チョーライ病院、九州大学付属病院との間で第5回テレカンファレンスが実施された。テーマは内視鏡診断・治療で筑波大学附属病院からは17名、チョーライ病院からは約20名、九州大学からも内視鏡診断のために研修中の外国人医師など6名が参加した。筑波大学附属病院からは内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD)の発表、チョーライ病院からはERCP、胃静脈瘤出血に対する硬化療法についての発表があり活発な討論が行われた。



筑波大学の会場の様子。
撮影場所：筑波大学



プレゼンテーション（左上）に注目する参加者たち。
撮影場所：筑波大学



提示された内視鏡のスライド。
撮影場所：筑波大学



九大会場から発言するサンパウロ大学のDr. Sakai。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院では海外からの研修医師らが参加した。
撮影場所：九州大学病院



質問する筑波大学のドクター。
撮影場所：筑波大学

#525　グローバルホスピタル（ムンバイ）からの手術ライブ　　2015.3.27

【イベント名】
グローバルホスピタル（ムンバイ）からの手術ライブ

【期日】2015.3.27

【会場】グローバルホスピタル（ムンバイ）（インド),
マラヤ大学（マレーシア),
チョーライ病院（ベトナム),
肝胆道科学センター（インド),
九州大学病院（日本)

【概要】
インドのグローバルホスピタルから初めての内視鏡ライブデモンストレーションが行われ、数多くの興味深い超音波内視鏡の手技が供覧された。Dr. Vinayのチームはこれまで多くの国内外とのテレカンファレンスなど遠隔教育プログラムの経験があり、我々のグループとは初めての接続であったが、特に大きな技術的問題はなく、音声・映像共にスムーズであった。



手術について説明するDr. Vinay（左)。
撮影場所：九州大学病院



マラヤ大学のDr. Ho(左から2番目）とそのチーム。
撮影場所：マラヤ大学



ライブで提示されたレントゲン画像。
撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡映像。
撮影場所：九州大学病院



コメントするインドのILBSのドクター（左)。
撮影場所：九州大学病院



提示された超音波内視鏡の映像。
撮影場所：九州大学病院

#526　第１回 ボリビアと日本のテレカンファレンス　2015.04.09

【イベント名】
第１回 ボリビアと日本のテレカンファレンス

【期日】2015.04.09

【会場】
九州大学病院（日本），
ボリビア・日本消化器センター（ボリビア）

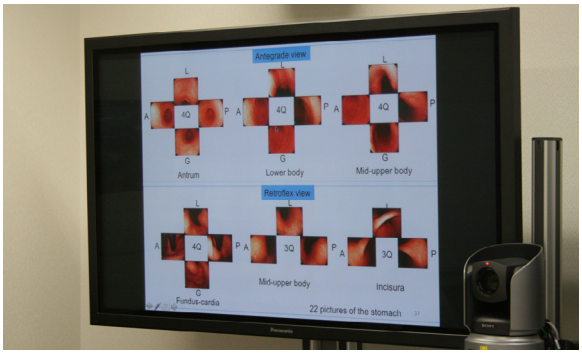
【概要】
ボリビア・日本消化器センターは日本の国際協力機構（JICA）の資金援助により建てられた病院です。その病院は世界消化器病学会のトレーニングセンターにも指定されており、毎年１回消化器内視鏡の教育・普及を目的にラテンアメリカ各地より参加者を招きワークショップを開催しています。今年は初めてそのセミナーの中で日本からの遠隔講演を企画し、映像・音声共に良好な状態の下で双方でのディスカッションが行われました。



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



ボリビア・日本消化器センターでの座長の先生方。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



ボリビア・日本消化器センターでは多くの参加があった。
撮影場所：ボリビア・日本消化器センター



ボリビア・日本消化器センター会場の様子。
撮影場所：ボリビア・日本消化器センター



早期胃癌の診断法について講演するDr. 八尾（中央）。
撮影場所：九州大学病院

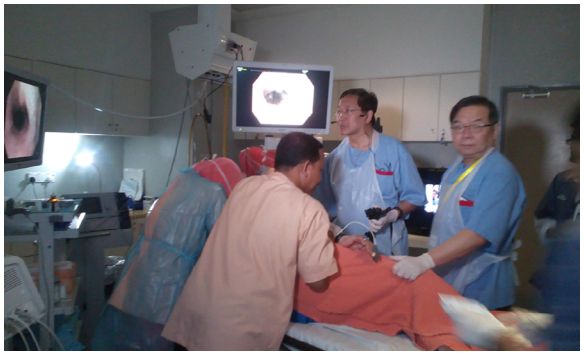
#527　第３回 マラヤ大学内視鏡ワークショップ　2015.04.18

【イベント名】
第３回 マラヤ大学内視鏡ワークショップ

【期日】2015.04.18

【会場】
九州大学病院（日本），
ライエル　マクユーイング　病院　医師自宅：アデレード（オーストラリア），
マラヤ大学（マレーシア）

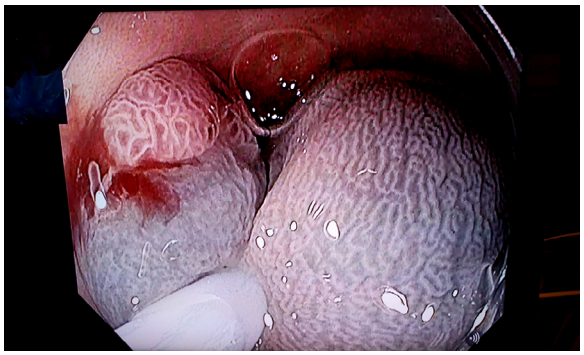
【概要】
マラヤ大学からのワークショップのライブ中継は今回で３回目となった。内視鏡室と主会場、また海外へはそれぞれH323とVidyoシステムを使用した。配信された映像は満足の行くものであったが、音声には２つのシステム間の遅延に影響すると考えられるエコーが発生してコミュニケーションに問題が生じた。次回以降はさらに良い状態での配信ができるように問題の解決を図っていきたい。



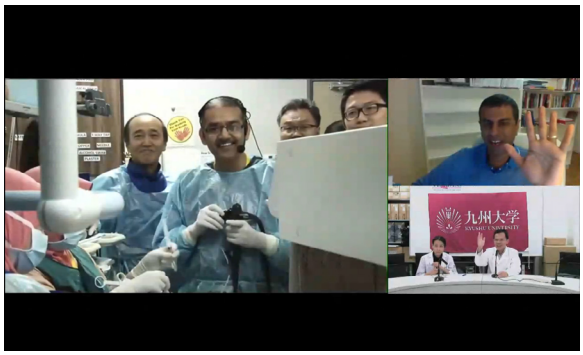
マラヤ大学の内視鏡室の様子。
撮影場所：マラヤ大学



マラヤ大学での会場の様子。
撮影場所：マラヤ大学



送信された内視鏡の映像。
撮影場所：マラヤ大学



画面に映し出される３地点。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



アデレードから遠隔参加のDr. Raj。
撮影場所：九州大学病院

#528　WGO トレーニングセンター 開所式　2015.04.18

【イベント名】
WGO トレーニングセンター 開所式

【期日】2015.04.18

【会場】
ラゴス大学教育病院（ナイジェリア），
アディスアベバ大学　ブラックライオン病院（エチオピア）

【概要】
世界消化器病学会の内視鏡トレーニングセンターとしてアフリカに新たに誕生した２つの施設で、同時にその開所式が企画された。九州大学から遠隔でサポートする形で、ナイジェリアとエチオピアがVidyoで接続され、双方から挨拶をする形で無事終了することができた。双方共に商用回線を使用し、手持ちの簡易な器機による接続ではあったが、初回としては大成功であった。今後アフリカ地区での活動拡大の契機となることを期待したい。



アディスアベバ大学での会場の様子。
撮影場所：アディスアベバ大学　ブラックライオン病院



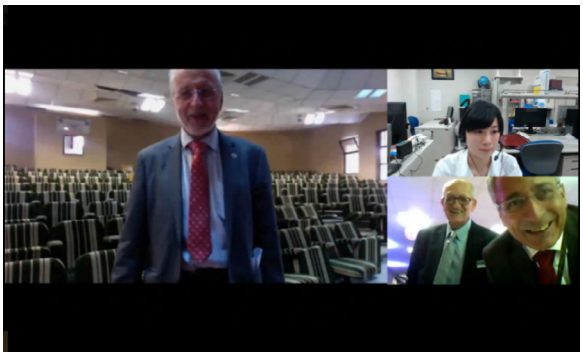
ラゴス大学教育病院での開所祝いの様子。
撮影場所：ラゴス大学教育病院



アディスアベバ大学から発言する参加者（中央）。
撮影場所：九州大学病院



ラゴス大学教育病院では多くの参加者があった。
撮影場所：ラゴス大学教育病院



接続された２会場とTEMDEC。接続を喜んでいる。
撮影場所：九州大学病院



アディスアベバ大学で提示された会のイメージ。
撮影場所：アディスアベバ大学　ブラックライオン病院

#529　第 27 回　関東腹腔鏡下胃切除研究会　2015.04.25

【イベント名】
第 27 回　関東腹腔鏡下胃切除研究会

【期日】2015.04.25

【会場】
東京医科歯科大学（日本），
高知大学（日本），
大分大学（日本）

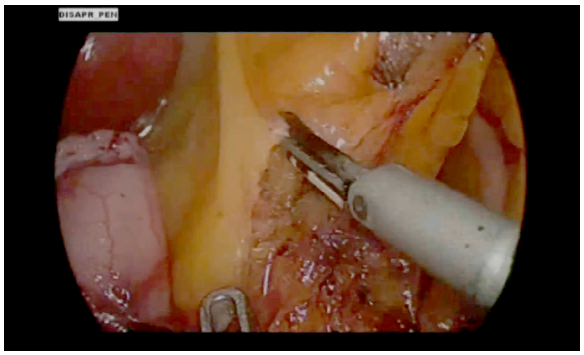
【概要】
今回も大変多くの参加者を迎え、東京医科歯科大学にて第27回関東LADG研究会を開催した。今回は高知大学、大分大学と共に東京から遠方の施設と接続したが、通信環境において大きな問題は生じなかった。高解像度かつタイムラグのない映像配信は外科系のテレカンファレンスに必須であり、今後は我々のシステムの更なる高画質化を目指したい。



東京医科歯科大学での会場の様子。
撮影場所：東京医科歯科大学



座長の先生方。
撮影場所：九州大学病院



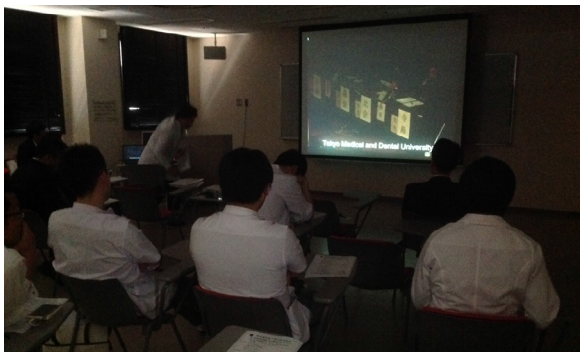
提示された内視鏡の動画。
撮影場所：九州大学病院



質問に回答する聖マリアンナ医科大学のDr. 福永。
撮影場所：九州大学病院



高知大学での会場の様子。
撮影場所：高知大学



大分大学での会場の様子。
撮影場所：　大分大学

#531　第１回 タイ - 日本内視鏡ナーステレカンファレンス　2015.04.28

【イベント名】
第 1 回 タイ - 日本内視鏡ナーステレカンファレンス

【期日】2015.04.28

【会場】
九州大学病院（日本），
チュラロンコン大学（タイ）

【概要】
タイから来日中Dr. Pradermchaiの調整により、看護師同士によるテレカンファレンスが開催された。タイ側にはバンコクの主要病院からタイ内視鏡看護師協会のメンバーがチュラロンコン大学に集合した。双方からそれぞれの内視鏡室や業務内容に関する発表が行われた後、ディスカッションが行われた。随時英語から日本語へ翻訳されながらのコミュニケーションであったが、通訳の仕方については次回多少の改善が必要と感じられた。



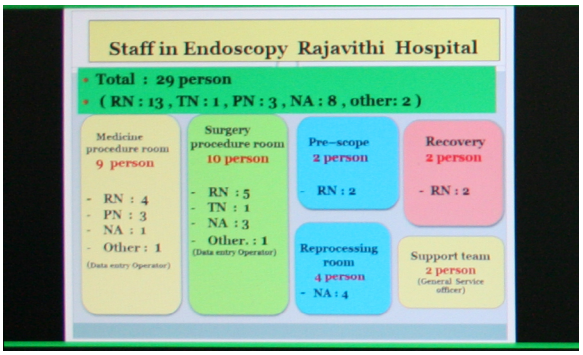
チュラロンコン大学での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



プレゼンテーションに注目する参加者たち。
撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡関連のスライド。
撮影場所：九州大学病院



コメントするNs. 鈴木（左）
撮影場所：九州大学病院



カンファレンス終了後のグループ写真。
撮影場所：九州大学病院

#532　医学生へのライブ中継講義　2015.05.12

【イベント名】
医学生へのライブ中継講義

【期日】2015.05.12

【会場】
九州大学病院（日本），
ソウル大学ブンダン病院（韓国），
鹿児島大学（日本）

【概要】
毎年おこなわれているソウル大学ブンダン病院手術室からのライブ講義は、今年初めて鹿児島大学からの遠隔参加を得て行われた。学生からは比較的積極的な発言もあり、鹿児島大学との３地点による講義は非常に新鮮であった。伝送された映像は一部解像度も落ちスムーズさにも欠けたが、講義自体には大きな影響はなかった。九大講義室には大阪大学から史先生が参加されており、来年以降この活動がさらに広がることを期待したい。



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



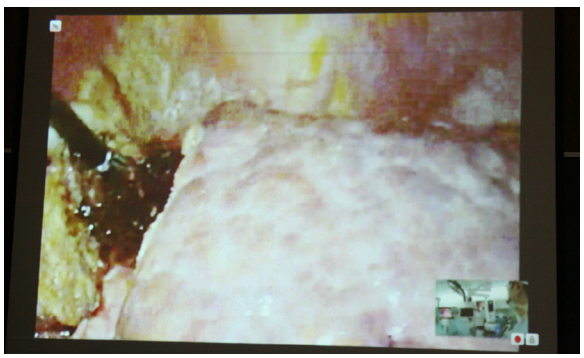
3Dメガネをかけて登場したDr. Han。
撮影場所：九州大学病院



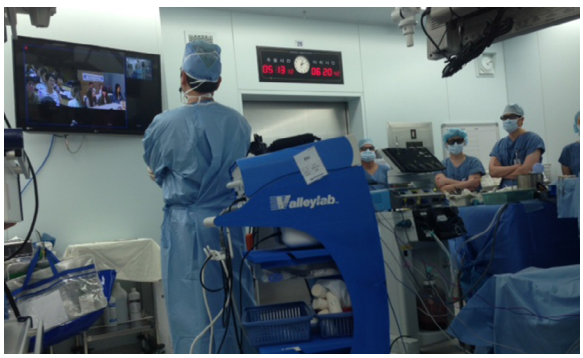
モニタに映し出される３地点。左下は鹿児島大学。
撮影場所：九州大学病院



質問する学生（中央）。
撮影場所：九州大学病院



提示された手術の映像。
撮影場所：九州大学病院



ソウル大学ブンダン病院での会場の様子。
撮影場所：ソウル大学ブンダン病院

#533　第 16 回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス　2015.05.13

【イベント名】
第 16 回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス

【期日】2015.05.13

【会場】
九州大学病院（日本), 北京協和医院（中国), 復旦大学中山病院（中国), 順天堂大学（日本), 南方医科大学　南方医院（中国）

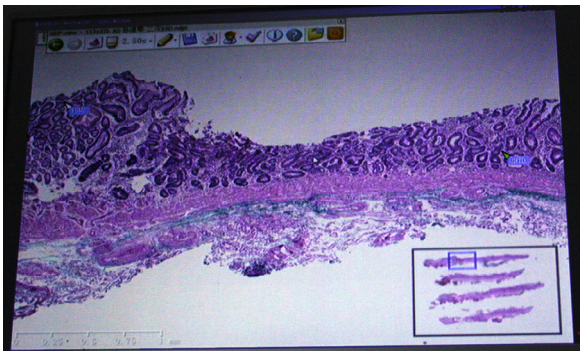
【概要】
今回は広州の南方病院が初めて参加し、５施設が接続されてテレカンファレンスが行われた。南方病院には近隣の１０病院から多くの参加者があった。通常と同様日本と中国から多くの症例提示があったが、その中の２症例は南方病院からの発表であった。今後も早期胃癌の診断や治療法のより良い理解へ向け、内視鏡医と病理医が協力を続けていきたい。



コメントするDr. 八尾（中央)。
撮影場所：九州大学病院



接続された５地点。
撮影場所：九州大学病院



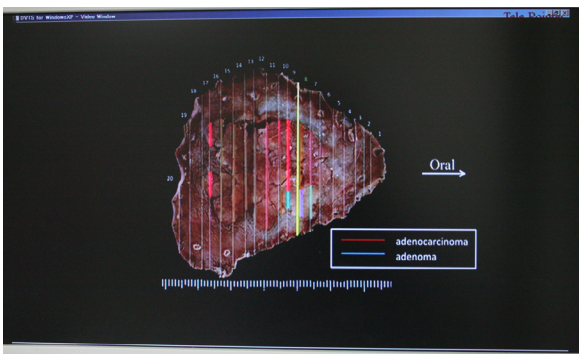
テレポインターを用いた病理画像のディスカッション。
撮影場所：九州大学病院



南方医科大学　南方医院での会場の様子。
撮影場所：南方医科大学　南方医院



プレゼンテーションに注目する参加者たち。
撮影場所：九州大学病院



提示された切除標本のスライド。
撮影場所：九州大学病院

#535　医工連携：タイとの学生テレカンファレンス　2015.06.02

【イベント名】
医工連携：タイとの学生テレカンファレンス

【期日】2015.06.02

【会場】
九州大学病院（日本），
チュラロンコン大学（タイ）

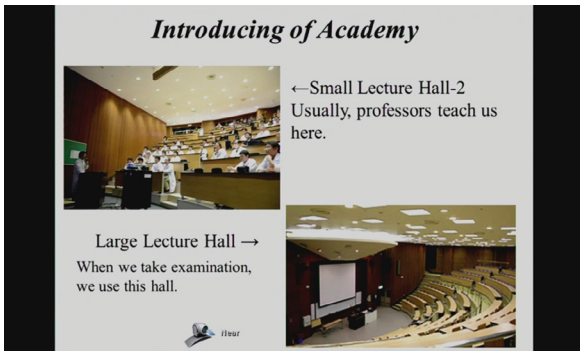
【概要】
今回初めての試みとして、タイのチュラロンコン大学と接続し、タイ・日本間の医学生交流テレカンファレンスを実施した。九州大学から２グループ、チュラロンコン大学から１グループが発表し、すべて英語で実施した。九州大学からは大学や学生生活、地元のグルメ紹介等バラエティに富んだ発表がなされ、チュラロンコン大学からは、医学部のカリキュラムに関して詳細な説明があった。今後継続的なプログラムに発展していきたい。



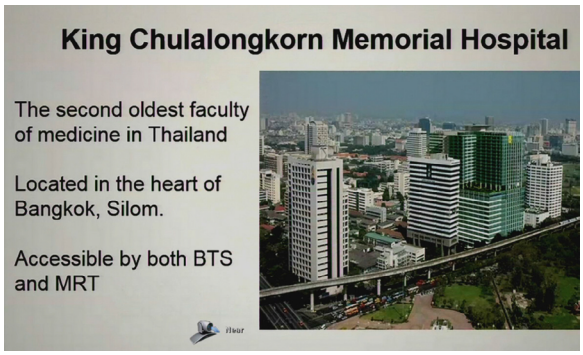
九州大学画像管理室の様子。
撮影場所：九州大学病院



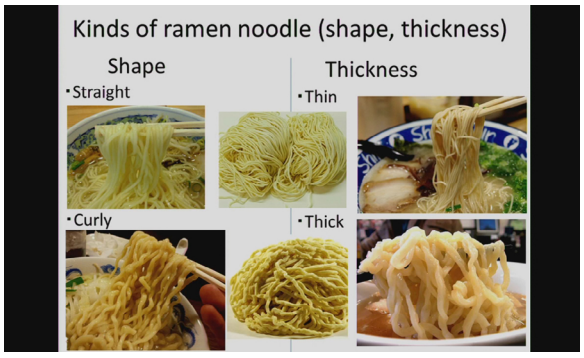
チュラロンコン大学の発表者。
撮影場所：九州大学病院



九州大学Aチームのスライド。
撮影場所：九州大学病院



チュラロンコン大学チームのスライド。
撮影場所：九州大学病院



九州大学Bチームのスライド。
撮影場所：九州大学病院



九州大学Bチームの発表についての会議の様子。
撮影場所：九州大学病院

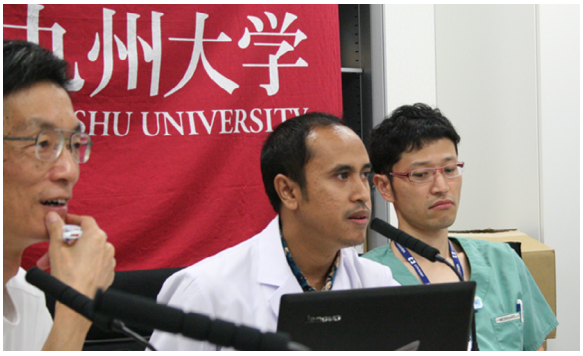
#536　スマトラウタラ大学とのテレカンファレンス　2015.06.03

【イベント名】
スマトラウタラ大学とのテレカンファレンス

【期日】2015.06.03

【会場】
九州大学病院（日本），
スマトラウタラ大学（インドネシア）

【概要】
Dr. Taufikより九大病院在籍期間に経験したEUS, ERCPなどの治療内視鏡や術中内視鏡の紹介があった。スマトラウタラ大学のドクター達にとっては日常処置とは言えないものも多数含まれており、興味深くスライドをご覧になっていたのが印象的であった。今回は動画の転送がVidyoシステムを使用して行なわれ、相手の受信の問題もあってか音声の送信が途切れやすいなど問題点もあり、双方の活発なdiscussionのための改善点を見いだせるカンファレンスであった。



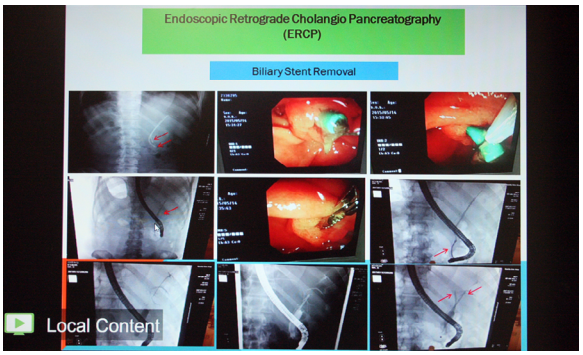
発表するDr. Taufik（中央）。
撮影場所：九州大学病院



スマトラウタラ大学のドクター達。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスマトラウタラ大学についてのスライド。
撮影場所：九州大学病院



提示されたERCPについてのスライド。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院の会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



明るいカンファレンスの風景。
撮影場所：九州大学病院

#537　第 4 回 内視鏡クラブ E-カンファレンス　2015.06.03

【イベント名】
第 4 回 内視鏡クラブ E-カンファレンス

【期日】2015.06.03

【会場】
九州大学病院（日本), チュラロンコン大学（タイ), マラヤ大学（マレーシア), 香港中文大学プリンスオブウェールズ病院（香港), ライエル マクユーイング病院（オーストラリア), ディーナナス・マンゲッシュカー病院（インド), 名古屋大学（日本), チャンギ総合病院（シンガポール), ノボシビルスク州立医科大学 ノボシビルスク州地域病院（ロシア), アサン医療センター（韓国）

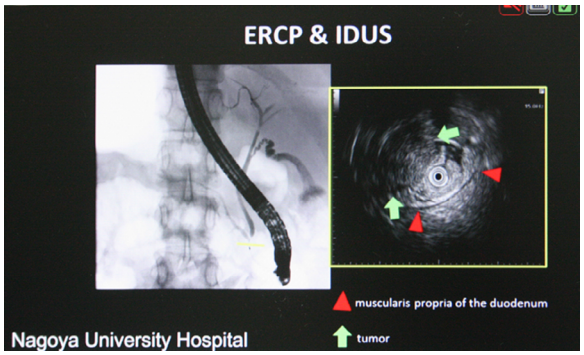
【概要】
9か国、10施設による第4回 内視鏡クラブ　E-カンファレンスが開催された。双方から内視鏡治療症例についてのPPTやVideoによる症例呈示とディスカッションが行われた。症例としては、ディーナナス・マンゲッシュカー病院（インド)からのInterventional EUSを用いた内視鏡治療が大変興味深かった。多施設切り替えの問題として、特にdiscussion部分での発言施設の同定が音声のみに頼らねばならず、視覚的に判断が困難となる場面が多く、当院テクニカルスタッフの苦労が伺えた。



九州大学から参加したDr. 清水(左)とそのチーム。
撮影場所：九州大学病院



チュラロンコン大学の会場の様子。
撮影場所：　チュラロンコン大学



提示されたX線画像。
撮影場所：　九州大学病院



初めて接続されたノボシビルスク州立医科大学の様子。
撮影場所：九州大学病院



名古屋大学の会場の様子。
撮影場所：名古屋大学



マラヤ大学のDr. Ho(中央)とそのチーム。
撮影場所：　マラヤ大学

#538　第 6 回 筑波大学とチョーライ病院のテレカンファレンス　2015.06.18

【イベント名】
第 6 回 筑波大学とチョーライ病院のテレカンファレンス

【期日】2015.06.18

【会場】
筑波大学（日本），
チョーライ病院（ベトナム），
九州大学病院（日本）

【概要】
6月18日に本院と南部ベトナム拠点病院のチョーライ病院との間で第6回テレカンファレンスが実施されました。今回のトピックはICU看護、特に術後管理に関するものでした。当日はチョーライからはICU看護師など約15名、本院からは看護部、ICUの看護師など約15名、九州大学から通信システム支援で1名が参加しました。チョーライ病院からは同院ICU及びICU看護の紹介、筑波大学附属病院からは人工呼吸器患者の譫妄に関する発表があり、その後活発な討論が行われました。



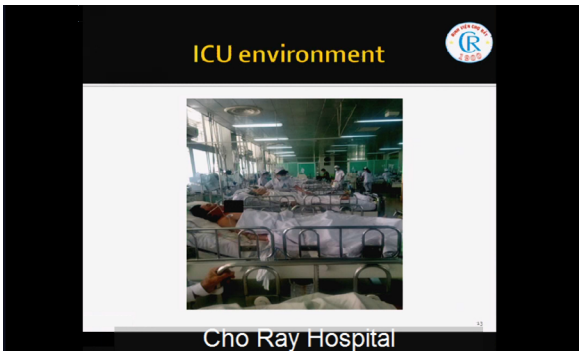
筑波大学会場の様子。
撮影場所：筑波大学



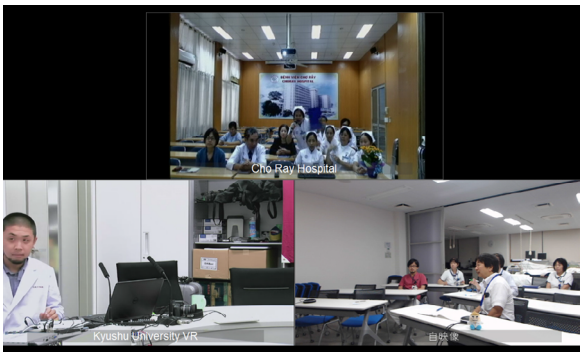
チョーライ病院での会場の様子。
撮影場所：筑波大学



筑波大学から提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



チョーライ病院から提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される３地点。
撮影場所：筑波大学



筑波大学から参加したDr. 秋山。
撮影場所：筑波大学

#540　第７回 国際消化器ワークショップ　2015.06.27

【イベント名】
第７回 国際消化器ワークショップ

【期日】2015.06.27

【会場】
クラウンプラザ　テケンダマ　ボゴタ（コロンビア），
佐野病院（日本），
武田総合病院（日本）

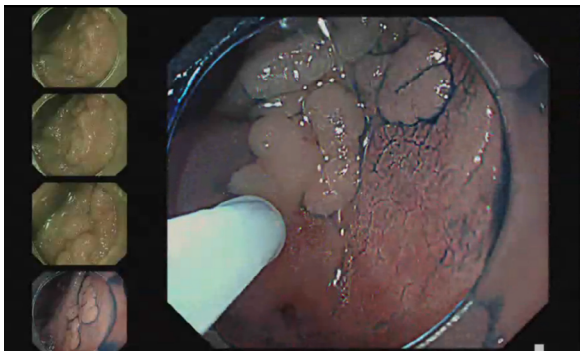
【概要】
コロンビアで開催された内視鏡のワークショップへ向け、日本から初めてのライブデモンストレーションが行われた。日本では土曜日の午前中であるにも関わらず、神戸と京都から最新機器を使用した早期癌の診断と内視鏡的切除術が披露された。最初京都からの音声が出ないと言った会場でのテクニカルな問題が発生したが、途中から改善され全体として素晴らしい会となった。多くの参加者から賞賛の声を頂いた。



発表を行う九州大学病院のDr. 清水。
撮影場所：Crowne Plaza Tequendama Bogota



Crowne Plaza Tequendama Bogotaでの会場の様子。
撮影場所：Crowne Plaza Tequendama Bogota



佐野病院からの内視鏡手術ライブ映像。
撮影場所：九州大学病院



武田総合病院からの内視鏡手術ライブ映像。
撮影場所：九州大学病院



佐野病院で手術を行ったDr. 佐野(中央)。
撮影場所：佐野病院



武田総合病院で手術を行ったDr. 滝本(左)。
撮影場所：武田総合病院

#543　コロンビア・バジェ大学とのテレカンファレンス　2015.07.10

【イベント名】
コロンビア・バジェ大学とのテレカンファレンス

【期日】2015.07.10

【会場】
九州大学病院（日本),
コロンビア・バジェ大学病院（コロンビア）

【概要】
南米コロンビアのバジェ大学病院から初めて研修に招聘されたDr. Jessicaの研修報告会は終始和やかな雰囲気の中で行われた。自分の病院と接続しスタッフや同僚へ日本での経験を紹介できたことは、彼女のみならず現地のスタッフにとっても非常に有意義なものであった。接続に関しては当初苦労もあったものの、最終的には静止画は十分に共有できるレベルとなった。今後学術回線を含め、画像・音声の品質向上の可能性を探っていきたい。



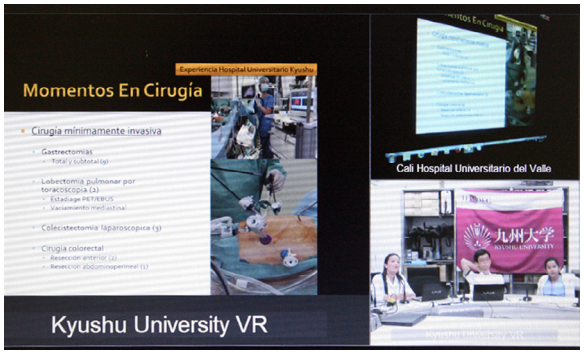
九州大学病院から研修報告を行ったDr. Jessica。
撮影場所：九州大学病院



コロンビア・バジェ大学病院の会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での研修について発表を行う。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出されるスライドと2地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



福岡の祭りについて紹介したスライド。
撮影場所：九州大学病院



テレカンファレンスはカジュアルな雰囲気で進められた。
撮影場所：九州大学病院

#544　第１回 日本東洋医学会福岡県部会　2015.07.12

【イベント名】
第１回 日本東洋医学会福岡県部会

【期日】2015.07.12

【会場】
九州大学病院（日本),
宮崎大学（日本）

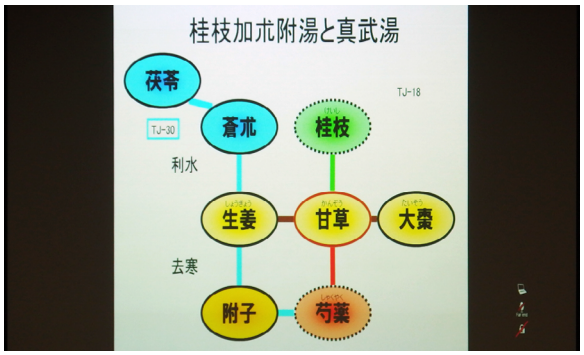
【概要】
平成27年度第1回目の日本東洋医学会福岡県部会が開催された。今回は疼痛に関してのテーマで、運動器の痛み、腹痛・頭痛に関してそれぞれDr. 田原, Dr. 貝沼が教育講演を行い、最後にDr. 井上が症例を提示し、症例検討会が行われた。宮崎と2地点で活発な議論が行われた。接続は安定していたが、演者のマイクの持ち方の変化によって接続先への音声が途切れる場面があった。



座長を務めるDr. 田原。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



スクリーンに映し出される２地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



発表を行うDr. 貝沼。
撮影場所：九州大学病院



質問を行う会場の参加者。
撮影場所：九州大学病院

#545　第 17 回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス　2015.07.15

【イベント名】
第 17 回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス

【期日】2015.07.15

【会場】
九州大学病院（日本），
北京協和医院（中国），
復旦大学中山病院（中国），
順天堂大学（日本），
南方医科大学　南方医院（中国）

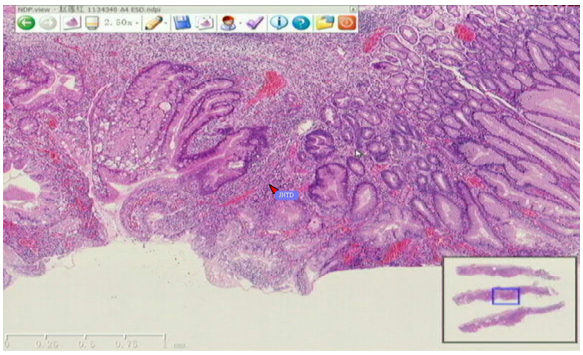
【概要】
今回は中国側で準備された 7 症例についてディスカッションを行った。そのうちの 1 症例は最近北京に開院した大規模な病院である北京清华长庚医院のスタッフから提示された。このテレカンファレンスは会を経る毎に中国側での参加者が増加している。また日本側では今回初めて東京大学のDr. 藤城に順天堂大学から参加し、様々なコメントをいただいたことにより、討論をさらに有意義なものにすることができた。



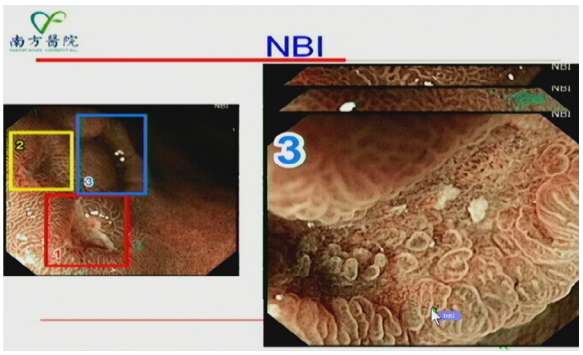
コメントするDr. 八尾（左）。
撮影場所：九州大学病院



接続された5地点。
撮影場所：九州大学病院



テレポインターを用いた病理画像のディスカッション。
撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡画像。
撮影場所：九州大学病院



プレゼンテーションに注目する参加者たち。
撮影場所：九州大学病院



復旦大学中山病院での会場の様子。
撮影場所：復旦大学中山病院

#547　ドミニカ共和国研究教育ネットワーク(RADEI)とのテレカンファレンス

2015.07.29

【イベント名】
ドミニカ共和国研究教育ネットワーク(RADEI)とのテレカンファレンス

【期日】2015.07.29

【会場】
九州大学病院（日本),
ドミニカ共和国研究教育ネットワーク(RADEI) (ドミニカ共和国)

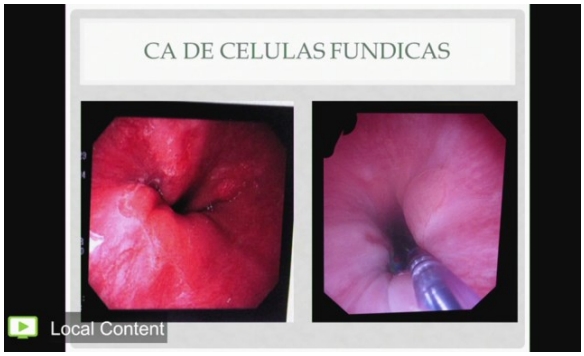
【概要】
ドミニカ共和国から初めての研修医師を迎え、帰国前の研修報告のために母国とのテレカンファランスを実施した。Dr. Yolenaの研修のプレゼンテーションについて議論が盛り上がった。ドミニカ共和国と日本は共に胃癌の多い共通点があり、今後も少しずつコミュニケーションの継続が望まれる。音声や映像に関する技術的問題はなかった。



九州大学病院から研修報告を行ったDr. Yolena。
撮影場所：九州大学病院



ドミニカ共和国研究教育ネットワークでの会場の様子。
撮影場所：ドミニカ共和国研究教育ネットワーク



九州大学病院での研修について発表を行う。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される２地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



福岡の観光地について紹介したスライド。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院

#548　第 2 回 遠隔相談　　2015.08.03

【イベント名】
第 2 回 遠隔相談

【期日】2015.08.03

【会場】
京都第二赤十字病院（日本），
タイ赤十字社（タイ），
九州大学病院（日本）

【概要】
海外に駐在している日本人実患者に対する遠隔医療相談の実施例である。実患者への遠隔医療相談では2例目である。京都出身でタイへ滞在中の日本人男性に整形外科疾患があり、帰国治療するべきか、タイでの治療を受けるべきかの相談を患者からリクエストのあった京都第二赤十字病院の日下部病院長（整形外科）と田中聖人医師に対応していただいた。途中ネットワークが悪く充分なコミュニケーションがとれず、患者へのサービスの課題として強く認識した。



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



コーディネート役の九州大学病院Dr. 中島。
撮影場所：九州大学病院



京都第二赤十字病院から問診を行う日下部病院長。
撮影場所：九州大学病院



モニタに表示された３接続地点。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院では映像表示に大きな２つのモニタを使用した。
撮影場所：九州大学病院



患者には穏やかな表情が見られた。
撮影場所：九州大学病院

#549　NASATI オフィスとのテレカンファレンス　2015.08.04

【イベント名】
NASATI オフィスとのテレカンファレンス

【期日】2015.08.04

【会場】
九州大学病院（日本），
VINAREN（ベトナム）

【概要】
ベトナムのNASATIオフィスから遠隔医療技術トレーニング招聘プログラムに参加したTinhさんが一か月間のトレーニングの成果についてプレゼンテーションを行った。本テレカンファレンスはVidyoシステムにより接続され、自施設とのコーディネートや接続テストはすべてTinhさん自身が行った。NASATIオフィスからは以前同様のプログラムで招聘されたMinhさんが参加し、和やかな会となった。



九州大学病院から研修報告を行ったMr. Tinh。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での研修について発表を行う。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される２地点の様子。右はMinhさん。
撮影場所：九州大学病院



日本食について紹介したスライド。
撮影場所：九州大学病院



モニタに注目する研修生たち。
撮影場所：九州大学病院

#550　第 6 回 ラテンアメリカテレカンファレンス　2015.08.06

【イベント名】
第 6 回 ラテンアメリカテレカンファレンス

【期日】2015.08.06

【会場】
九州大学病院 (日本), アレマナ病院 (チリ), サンパウロ大学　ヒベロンプレト病院 (ブラジル), ブラジル癌研究所 (ブラジル), Rede Universitaria de Telemedicina (ブラジル), バレトス　がん病院 (ブラジル), ゴンザレス総合病院 (メキシコ), シャープマサトラン病院 (メキシコ), セドナ病院 (メキシコ), メキシコ癌研究所 (メキシコ), コスタ・リカ大学 (コスタリカ), カリ・ザビエル大学 (コロンビア), ボリビア・日本消化器センター (ボリビア)

【概要】
最初にコスタ・リカ大学より発表されたquality indicatorsを用いた安全管理はまさにアメリカが先進的に取り組んでいる内容で、日本では取り上げられない内容で参考になった。スクリーニングにおける前処置薬、治療後サーベイランスなどは世界的にも統一された見解は存在しないため、議論が盛り上がった。ラテンアメリカ大陸の歴史的背景よりアメリカもしくはヨーロッパ大陸いずれの国から影響を受けているかの違いがプレゼンテーションに表れており興味深かった。終始、胃癌への高い関心が示されたディスカッションであり、ラテンアメリカとの国際交流の重要さを改めて感じた。



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される 9 地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



コスタ・リカ大学から提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡画像。
撮影場所：九州大学病院



ストリーミング受信で参加したカトマンズモデル病院。
撮影場所：カトマンズモデル病院



セッション開始前に広島の被爆者へ黙祷が捧げられた。
撮影場所：九州大学病院

#551　第２回 ジャパン ラボ　　2015.08.06

【イベント名】
第２回 ジャパン ラボ

【期日】2015.08.06

【会場】
宮崎大学（日本),
九州大学病院（日本),
京都大学（日本),
シアトル科学財団（アメリカ合衆国),
琉球大学（日本）

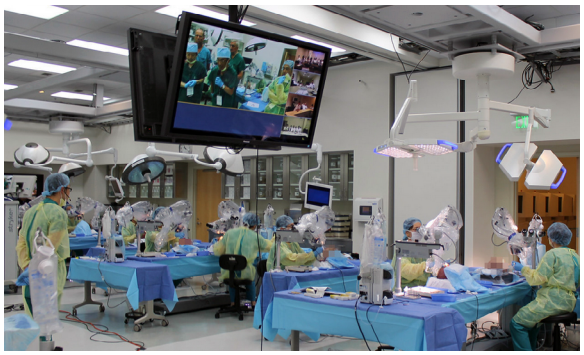
【概要】
本イベントはシアトル科学財団で開催された日本人医師用の耳科手術教育コース（Japan Lab 2015）のプログラムの一つとして開催され、日本の４大学の耳鼻咽喉科教室が参加し、双方向に画像と音声を共有した。教育コースに参加した医師は献体に対して行った手術について発表を行い、日本からの質疑応答や追加の手術手技のリクエストなども出された。各施設とも接続障害などは見られず、活発な議論が行われ成功裏に終了した。



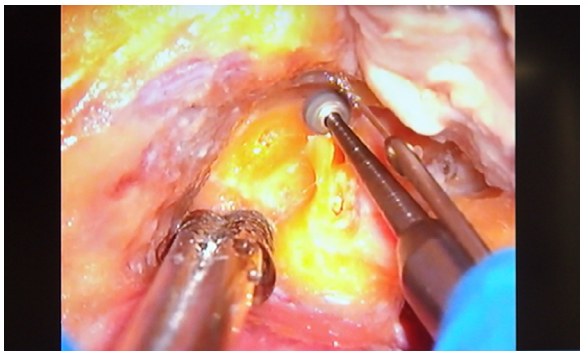
モニタに映し出される5地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



シアトルで進行を務める宮崎大学のDr. 東野(右)。
撮影場所：九州大学病院



シアトル科学財団での会場の様子。
撮影場所：シアトル科学財団



献体を用いた手術のライブ映像。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院から参加したDr. 松本(左)。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院

#552　第 40 回 APAN 会議 胎児医療　　2015.08.11

【イベント名】
第 40 回 APAN 会議 胎児医療

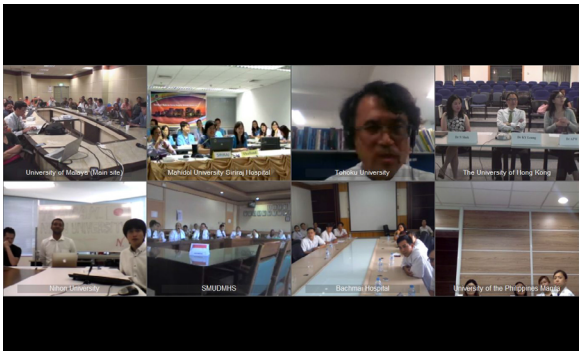
【期日】2015.08.11

【会場】
マラヤ大学（マレーシア），マヒドン大学シリラ病院（タイ），セベラス・マレット大学　Moewardi 病院（インドネシア），香港大学（香港），日本大学（日本），東北大学（日本），バックマイ病院（ベトナム），マニラ大学総合病院（フィリピン）

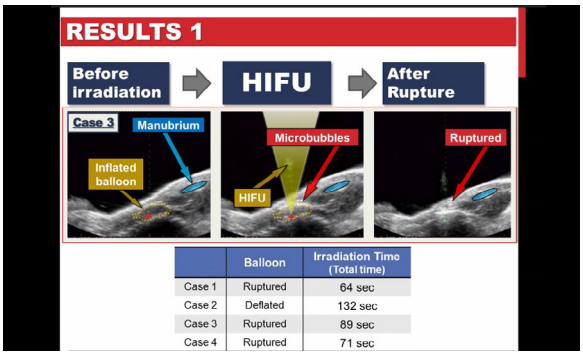
【概要】
今回で８回目となる胎児セッションでは、マラヤ大学が新たに参加し、計８施設が接続した。各施設間で知識、経験を共有することが出来、非常に有益な会となった。残る課題としては、音質、映像に改善の余地があるように見受けられた。最後に、Dr. Zalehaの深く温かい激励のお言葉をもってセッションは無事閉会した。



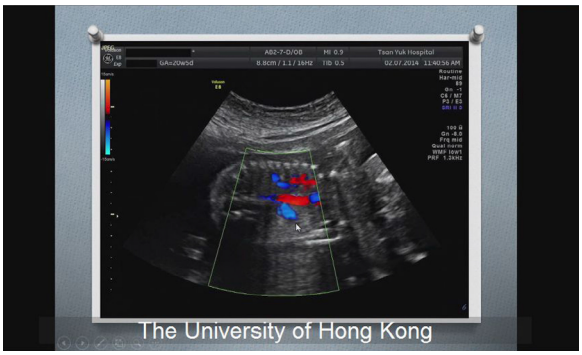
コメントする座長のDr. Zaleha。
撮影場所：マラヤ大学



モニタに映し出される８地点の様子。
撮影場所：マラヤ大学



提示されたスライド。
撮影場所：マラヤ大学



提示された心エコー画像のスライド。
撮影場所：マラヤ大学



マヒドン大学シリラ病院での会場の様子。
撮影場所：マラヤ大学



マニラ大学総合病院での会場の様子。
撮影場所：マラヤ大学

#554　第 40 回 APAN 会議 肝胆膵　　2015.08.12

【イベント名】
第 40 回 APAN 会議 肝胆膵

【期日】2015.08.12

【会場】
マラヤ大学（マレーシア），ソウル大学ブンダン病院（韓国），GB パント病院（インド），北京がんセンター（中国），カトマンズモデル病院（ネパール），サンウェイ・メディカル・センター（マレーシア），国立腎臓・移植センター（フィリピン），ビエット ドゥック 病院（ベトナム），アイルランガ大学（インドネシア），千葉大学（日本），東北大学（日本），北海道大学（日本）

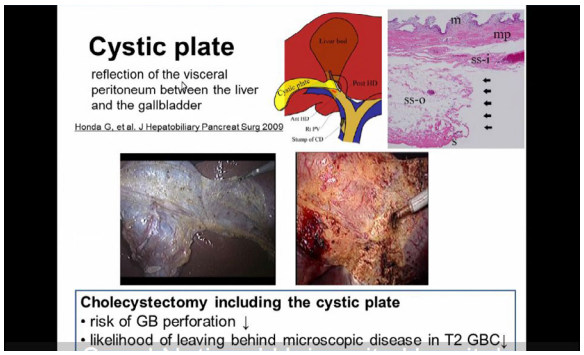
【概要】
本セッションは肝胆道手術というテーマのもと、計16施設が参加した。多くの施設が参加したため、音声システムなどの技術的な問題も見られたが、肝胆膵分野の参加者間の固い友情の絆により、セッションは無事終了した。割り当てられた時間が90分と限られていたので、16施設が参加するには少し不十分であったように思われる。



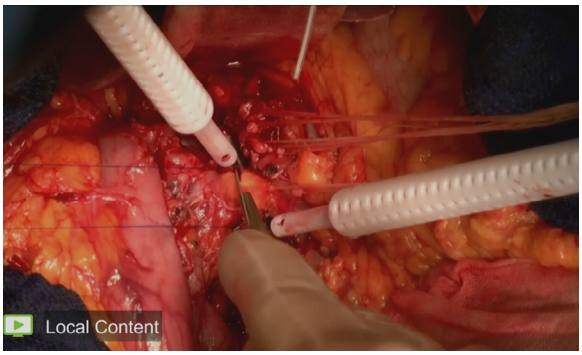
コメントするソウル大学のDr. Han（中央）。
撮影場所：マラヤ大学



モニタに映し出される16地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



提示された手術映像。
撮影場所：九州大学病院



北海道大学での会場の様子。
撮影場所：北海道大学



千葉大学での会場の様子。
撮影場所：千葉大学

#555　第 40 回 APAN 会議 AIG　2015.08.12

【イベント名】
第 40 回 APAN 会議 AIG

【期日】2015.08.12

【会場】
マラヤ大学（マレーシア），クリス・オブライエン ライフハウス（オーストラリア），香港中文大学プリンスオブウェールズ病院（香港），アジア消化器センター（インド），復旦大学中山病院（中国），ライエル マクユーイング 病院（オーストラリア），マヒドン大学シリラ病院（タイ），108 陸軍中央病院（ベトナム），九州大学病院（日本）

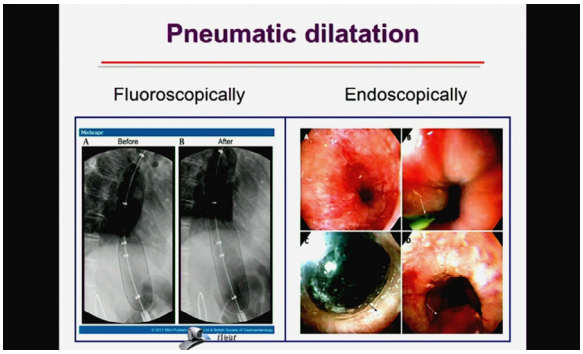
【概要】
セッション主催者として、セッションが円滑に進行したことは喜ばしい限りであった。細かな問題点が数点あったものの、音質、画質ともに満足のゆく結果となった。本セッションでは経口内視鏡的筋層切開術（POEM）という消化器専門医の間で普及しつつある技術をテーマとし、世界各国のPOEM専門医たちが一堂に会し、相互に意見を交わした。各参加者からは有益な意見が数多く出され、セッション参加者は皆、本セッションを通してPOEMについての新たな知見を得ることが出来た。



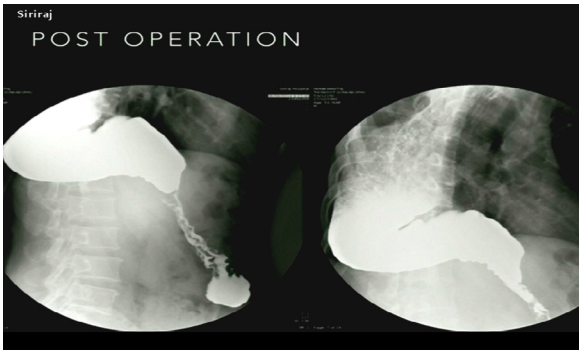
108 陸軍中央病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される10地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



提示されたX線画像。
撮影場所：九州大学病院



アジア消化器センターでの会場の様子。
撮影場所：アジア消化器センター



復旦大学中山病院での会場の様子。
撮影場所：復旦大学中山病院

#556　第 40 回 APAN 会議 内視鏡 (第 5 回 内視鏡クラブ　E-カンファレンス)　2015.08.12

【イベント名】
第 40 回 APAN 会議 内視鏡
(第 5 回 内視鏡クラブ　E-カンファレンス)

【期日】2015.08.12

【会場】マラヤ大学（マレーシア），ライエル マクユーイング 病院（オーストラリア），チャンギ総合病院（シンガポール），シンガポール総合病院（シンガポール），タン トク センン病院（シンガポール），ディーナナス・マンゲッシュカー病院（インド），グローバルホスピタル（ムンバイ）(インド)，肝胆道科学センター（インド），アジア消化器センター（インド），オスロ大学病院（ノルウェー），チョーライ病院（ベトナム），建国大学病院（韓国），名古屋大学(日本)，国立がん研究センター中央病院（日本），九州大学病院（日本），近畿大学（日本）

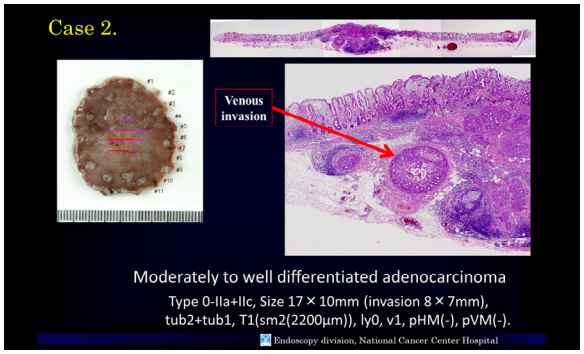
【概要】
16施設の参加により自己紹介だけでもかなりの時間を要した。発表が中心となり十分な議論を行う時間が不足していた点が残念である。ただその制約の中Dr. Ho、Dr. Rungsunの司会の力量は圧巻である。内容も早期胃癌のスクリーニングから消化管、胆道、静脈瘤に対する治療内視鏡と幅広く大変興味深い内容であった。ECEは元来学会にも引けを取らないハイレベルな症例検討である。その中でも今回の内容は参加した全員を満足させるだけのコンテンツを有していた。カンファランスの本質はデスカッションにあるだけに、回線トラブルに備えて緩衝的な時間配分を踏まえたプログラム選定も重要な要素であることを改めて感じた。



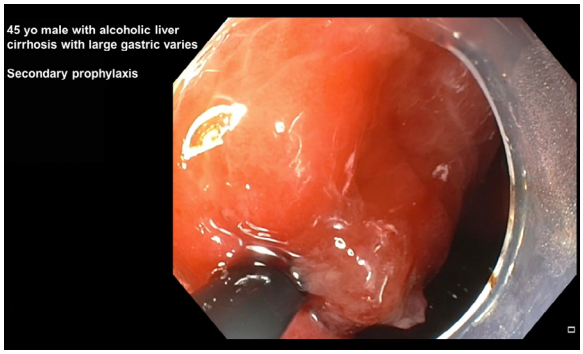
司会を務めるDr. Ho（左）　とDr. Rungsun（右）。
撮影場所：マラヤ大学



モニタに映し出される16地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



提示された病理画像のスライド。
撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡手術の映像。
撮影場所：九州大学病院



グローバルホスピタル（ムンバイ）での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



タン トク センン病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院

#557　第 40 回 APAN 会議 低侵襲外科　2015.08.13

【イベント名】
第 40 回 APAN 会議 低侵襲外科

【期日】2015.08.13

【会場】
マラヤ大学（マレーシア），カリフォルニア大学サンフランシスコ校 医療センター（アメリカ合衆国），チュラロンコン大学（タイ），バジラ病院（タイ），ラジャビティ病院（タイ），マヒドン大学シリラ病院（タイ），セントルークス医療センター（ケソン市）（フィリピン），九州大学病院（日本）

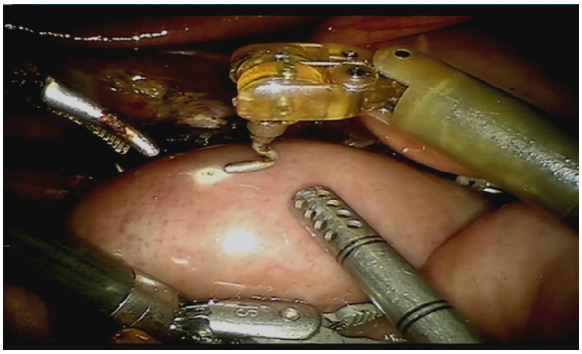
【概要】
本セッションでは各施設から計５つの低侵襲手術に関する症例が提示され、低侵襲手術における合併症予防のための興味深い提案ポイントについて協議した。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医療センターからの発表の際、技術的な問題がいくつか生じたものの、幸いにもそれら問題を修正することが出来たため、VDO症例に関する発表はスムーズに進行した。



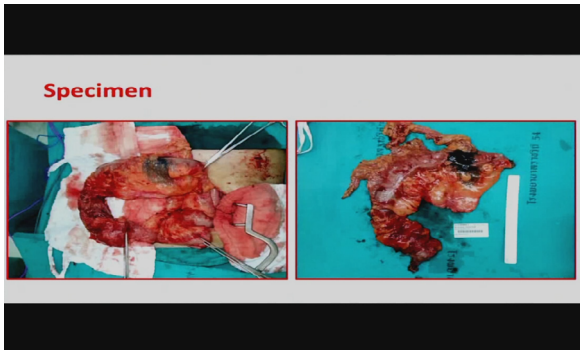
チュラロンコン大学の会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される７地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡手術の映像。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



セントルークス医療センターでの会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院から参加したDr. Irina（左）とDr. 大内田（右）。
撮影場所：九州大学病院

#558　第 40 回 APAN 会議 -インドネシアライブ　2015.08.13

【イベント名】
第 40 回 APAN 会議 -インドネシアライブ

【期日】2015.08.13

【会場】
マラヤ大学（マレーシア),
インドネシア大学（インドネシア),
アイルランガ大学（インドネシア),
スマトラウタラ大学（インドネシア),
神戸大学（日本),
九州大学病院（日本）

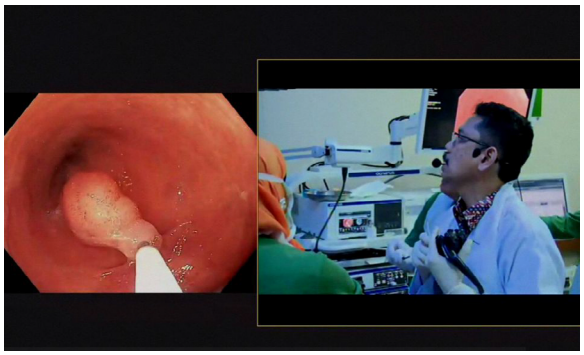
【概要】
今回インドネシア大学から国内の基幹病院へ初めての内視鏡ライブデモンストレーションが行われ、日本からは神戸大学と九州大学が参加した。本セッションにおける各施設の接続状況は良好で、また非常に有益な議論も交わされ、大変素晴らしい会となった。本セッションを通して、これまでにない新規の方法で消化器病や内視鏡技術についての知識を共有することが出来た。



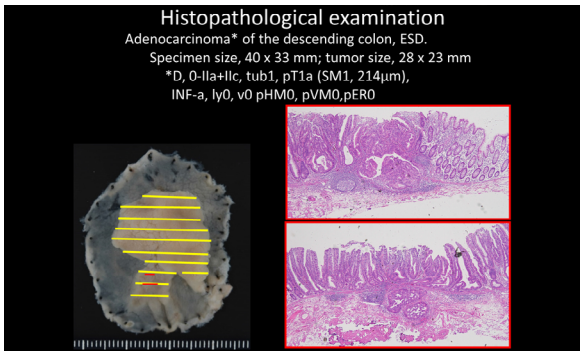
スマトラウタラ大学での会場の様子。
撮影場所：マラヤ大学



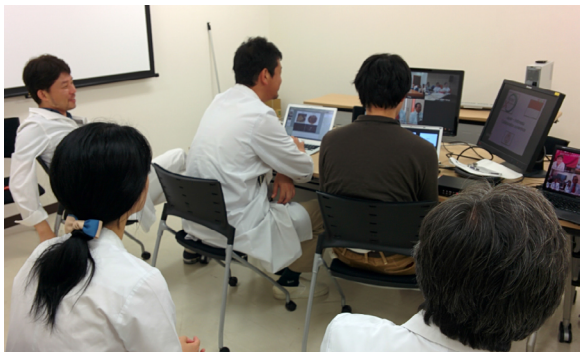
モニタに映し出される6地点の様子。
撮影場所：マラヤ大学



インドネシア大学からの内視鏡手術ライブ映像。
撮影場所：マラヤ大学



提示された病理画像のスライド。
撮影場所：九州大学病院



神戸大学での会場の様子。
撮影場所：神戸大学



コメントする九州大学病院のDr. 麻生（右）。
撮影場所：マラヤ大学

#559　第 40 回 APAN 会議 -トレーニングレポート　2015.08.13

【イベント名】
第 40 回 APAN 会議 -トレーニングレポート

【期日】2015.08.13

【会場】
マラヤ大学（マレーシア），ブラウィジャヤ大学（インドネシア），ハラパンキタ小児医療センター（インドネシア），アイルランガ大学（インドネシア），トリプバン大学 医学部（ネパール），ソンクラー大学（タイ），NASATI オフィス（ベトナム），九州大学病院（日本）

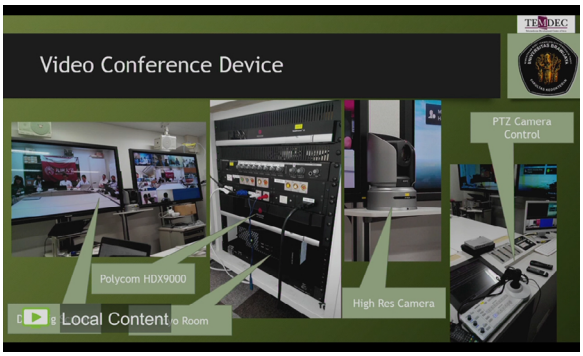
【概要】
遠隔医療技術トレーニング招聘プログラムにインドネシア、ネパール、タイから参加した5名のエンジニアが自施設を接続して一か月間のトレーニングの成果についてプレゼンテーションを行った。本カンファレンスはAPANの一セッションとして、Mr. Tunggul とMr. Gunjanがチーフエンジニアとなり、テスト調整など彼ら自身で行った。残念ながらネパールは技術者不在のため接続できなかったが、それ以外は接続状況もよかった。



司会を務めるDr. 清水（右）とMr. Satya（左）。
撮影場所：マラヤ大学



九州大学病院から研修報告を行った研修生たち。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での研修について発表を行う。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される7地点の様子。
撮影場所：マラヤ大学



福岡のショッピングセンターについて紹介したスライド。
撮影場所：九州大学病院



マラヤ大学での会場の様子。
撮影場所：マラヤ大学

#560　エンジニアワークショップ　2015.08.14

【イベント名】
エンジニアワークショップ

【期日】2015.08.14

【会場】
マラヤ大学（マレーシア),
九州大学病院（日本）

【概要】
今回のAPAN会議へは、遠隔医療技術トレーニング招聘プログラムによりアジア各国より16名の参加者、また7名の指導者を招聘した。最終日に行われたこのワークショップでは、一日かけて参加者からトレーニングの成果についてプレゼンテーションが行われた。初めての試みであったが有意義な会となり、ヒューマンネットワークの更なる広がりや、今後よりよいトレーニングプログラムの作成に活かしていきたい。



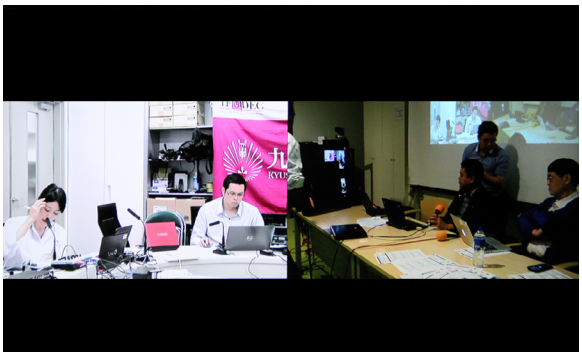
マラヤ大学での会場の様子。
撮影場所：マラヤ大学



コメントするマラヤ大学のDr. Ho。
撮影場所：マラヤ大学



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される2地点の様子。
撮影場所：マラヤ大学



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



ランチタイムにおける技術者たちの情報交換の様子。
撮影場所：マラヤ大学

#561　第 2 回 胃拡大内視鏡研究会　2015.08.22

【イベント名】
第 2 回 胃拡大内視鏡研究会

【期日】2015.08.22

【会場】
レソラ天神（日本),
順天堂大学（日本),
神戸大学（日本）

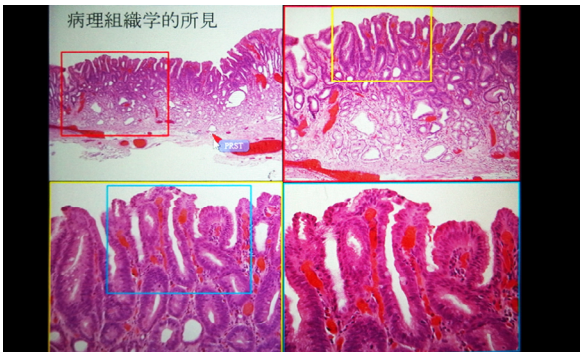
【概要】
福岡で定期開催されている第１４回九州胃拡大内視鏡研究会を，東京の順天堂大学と神戸大学へ中継した。福岡からのプレゼンテーションに加え、順天堂大学からもプレゼンテーションを行った。３つの中継カ所からリアルタイムにデスカッションを行った。画像診断の研究会であるが、画質もよく、音声も明瞭であった。



レソラ天神での会場の様子。
撮影場所：レソラ天神



順天堂大学での会場の様子。
撮影場所：順天堂大学



提示された病理画像のスライド。
撮影場所：レソラ天神



モニタに映し出される３地点の様子。
撮影場所：レソラ天神



神戸大学での会場の様子。
撮影場所：神戸大学



質問を行う会場の参加者。
撮影場所：レソラ天神

#563　第 2 回インドネシア大学からのライブデモ　2015.09.02

【イベント名】
第 2 回インドネシア大学からのライブデモ

【期日】2015.09.02

【会場】
インドネシア大学 (インドネシア),
アイルランガ大学 (インドネシア)

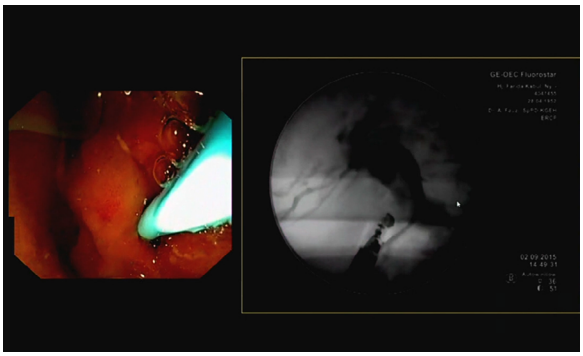
【概要】
神戸大学からインドネシア大学チプト病院に4名の医師が内視鏡指導を行っていた。その際、EUSを用いて十二指腸より胆管を穿刺しチューブを挿入する新しい手技をライブデモンストレーションした。その映像をスラバヤのアイルランガ大学に送信し、手技のポイントなどをレクチャーし、活発な議論が展開された。このような試みにより、ジャカルタ以外のインドネシアの都市でも遠隔通信で教育ができる可能性が示唆された。



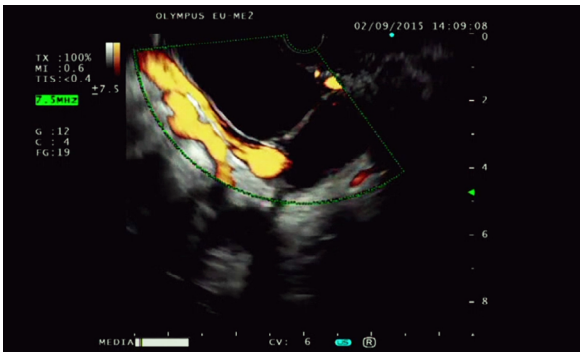
主催者であるDr. Dadang(右)とDr. 東(左)。
撮影場所：九州大学病院



インドネシア大学でのデモンストレーションの様子。
撮影場所：九州大学病院



インドネシア大学からの内視鏡手術のライブ映像。
撮影場所：九州大学病院



インドネシア大学からの超音波内視鏡画像。
撮影場所：九州大学病院



アイルランガ大学での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



神戸大学、インドネシア大学のドクター達。
撮影場所：九州大学病院

#564　第 15 回　福岡内視鏡手術フォーラム　2015.09.04

【イベント名】
第 15 回　福岡内視鏡手術フォーラム

【期日】2015.09.04

【会場】
アクロス福岡（日本),
岩手医科大学（日本),
産業医科大学（日本),
藤元総合病院（日本）

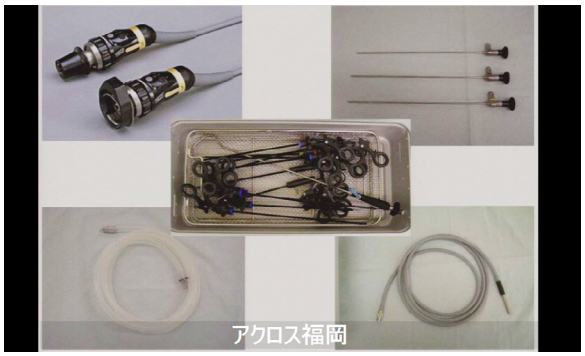
【概要】
今回の福岡内視鏡手術フォーラムは、器材の洗浄・滅菌をテーマに開催された。３施設より手術器材の洗浄・滅菌についての現状の発表後、「確実な滅菌のために」という演目で洗浄・滅菌の基礎知識から各施設での工夫など具体例を盛り込んだ講演が行われた。洗浄滅菌については手術室に勤務する看護師にとっては大変興味深いものであり、日常の勤務の中で役立つヒントが得られたのではないかと思われた。



総合司会を務めるNs. 高松(左)とNs. 一法師(右)。
撮影場所：アクロス福岡



藤元総合病院での会場の様子。
撮影場所：アクロス福岡



提示されたスライド。
撮影場所：アクロス福岡



モニタに映し出される４地点の様子。
撮影場所：アクロス福岡



アクロス福岡での会場の様子。
撮影場所：アクロス福岡



産業医科大学での会場の様子。
撮影場所：産業医科大学

#566　チュラロンコン大学との感染症テレカンファレンス　2015.09.08

【イベント名】
チュラロンコン大学との感染症テレカンファレンス

【期日】2015.09.08

【会場】
九州大学病院（日本),
チュラロンコン大学（タイ）

【概要】
Dr. Pitaksは、感染の領域としては初めて１か月の研修プログラムに参加したタイの医師である。福岡での滞在を通じて学んだ日本の感染症診療および対策を、スライドを使って紹介した。九大病院以外のいくつかの市中病院への見学も含め、両国の特徴を簡潔にまとめてくれた。続いて、両大学から、お互いの結核の現状を報告した。接続状態は良好であった。週末に多くの観光地を訪れ、日本の様々な文化を体験していたことも印象深かった。



発表を行うDr. Pitaks (左)。
撮影場所：九州大学病院



チュラロンコン大学での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される2地点の様子。
撮影場所：チュラロンコン大学



福岡の神社について紹介したスライド。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院

#567　メキシコ消化器内視鏡学会　2015.09.21

【イベント名】
メキシコ消化器内視鏡学会

【期日】2015.09.21

【会場】
マサトラン 国際センター（メキシコ),
京都府立医科大学（日本),
アサン医療センター（韓国)

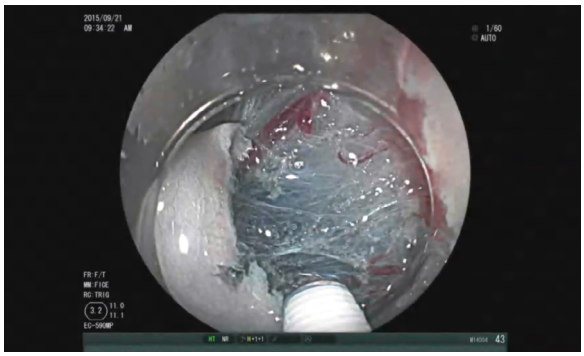
【概要】
メキシコ消化器内視鏡学会の歴史上初めてとなる日本からの内視鏡ライブを行った。日本では時期がちょうどシルバーウィークの祝日と重なったため、１か所は韓国にお願いすることとなった。前日の国内ライブデモンストレーションの際にはネットワーク上のトラブルがあったが、本セッションではその問題も解決され素晴らしいプログラムとなった。来年の学会でも日本からのライブが決定し、今後メキシコとの協力をより一層推進したい。



マサトラン 国際センターでの会場の様子。
撮影場所：マサトラン 国際センター



京都府立医科大学で手術を行ったDr. 吉田(右)。
撮影場所：九州大学病院



京都府立医科大学からの内視鏡手術ライブ映像。
撮影場所：九州大学病院



スクリーンに映し出される３地点の様子。
撮影場所：マサトラン 国際センター



アサン医療センターでの会場の様子。
撮影場所：アサン医療センター



会場でサポートを行った両国のエンジニアチーム。
撮影場所：マサトラン 国際センター

#569　第３回 国立大学病院国際化プロジェクト全国会議　2015.09.30

【イベント名】
第３回 国立大学病院国際化プロジェクト全国会議

【期日】2015.09.30

【会場】
京王プラザホテル札幌，旭川医科大学，筑波大学，千葉大学，浜松医科大学，名古屋大学，岡山大学，山口大学，佐賀大学，大分大学，鹿児島大学（すべて日本）

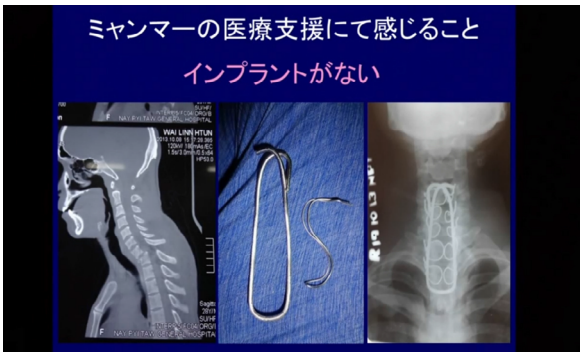
【概要】
第３回目の医師・技術者合同会議では整形外科や胎児、ロシアなど新しい遠隔医療教育プログラムのための分科会構築、また発展途上国への古い医用機材の寄付支援について議論がなされた。技術面では運用の問題点やマニュアル作成などについて議論が行われた。現地参加が困難な１０大学からの遠隔参加があり、若干の音量のアンバランスさがあったものの、全体としてはスムーズな接続が実現できた。



京王プラザホテル札幌での会場の様子。
撮影場所：京王プラザホテル札幌



大分大学での会場の様子。
撮影場所：大分大学



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される８地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



筑波大学での会場の様子。
撮影場所：筑波大学



山口大学での会場の様子。
撮影場所：山口大学

#570　第 7 回 筑波大学とチョーライ病院のテレカンファレンス　2015.10.02

【イベント名】
第 7 回 筑波大学とチョーライ病院のテレカンファレンス

【期日】2015.10.02

【会場】
筑波大学（日本),
チョーライ病院（ベトナム),
フエ中央病院（ベトナム),
九州大学病院（日本)

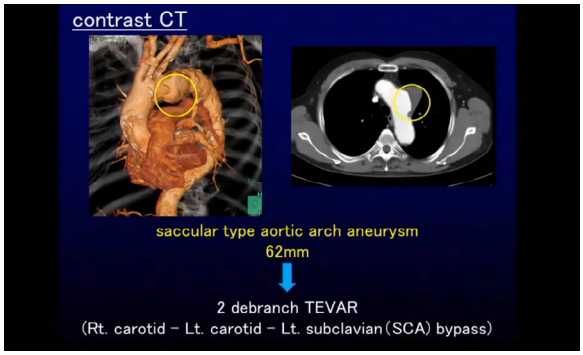
【概要】
第7回はこれまで長い間協力している心臓血管外科に関するカンファレンスでした。ベトナム側からの要望で今回フエ中央病院が初めてオブザーバー参加しました。チョーライ病院からは妊婦の解離性大動脈瘤の症例、筑波大学附属病院からは弓部大動脈瘤に対する頸部分枝にバイパスを作成してからステントグラフト手術を行うDebranched TEVARを施行した症例に関する発表があり、それぞれの症例に関して活発な討論が行われました。



コメントするDr. 秋山(中央)。
撮影場所：筑波大学



フエ中央病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される 3 地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



チョーライ病院での会場の様子。
撮影場所：チョーライ病院



筑波大学での会場の様子。
撮影場所：筑波大学

#571　リオグランデ・ド・スル連邦大学ポルト・アレグレ病院とのテレカンファレンス　2015.10.07

【イベント名】
リオグランデ・ド・スル連邦大学ポルト・アレグレ病院とのテレカンファレンス

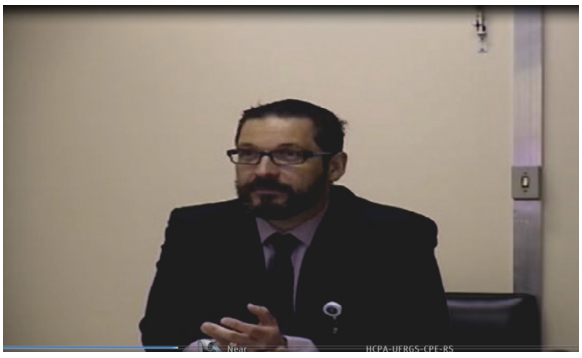
【期日】2015.10.07

【会場】
九州大学病院（日本）
リオグランデ・ド・スル連邦大学ポルト・アレグレ病院（ブラジル）

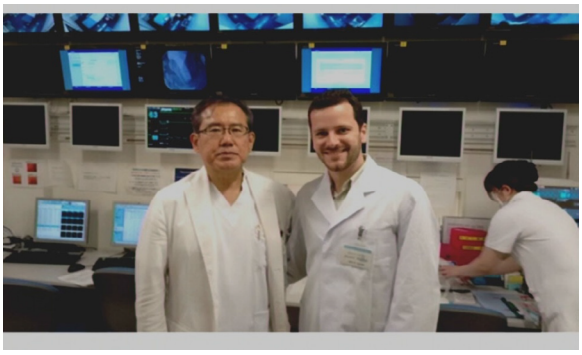
【概要】
本セッションでは、九州大学病院で1か月間研修したDr. Jeronimoが、自施設と接続して九州大学滞在における成果報告を行った。ブラジル側は初めての接続でしかも朝早い時間帯であったにも関わらずテクニカルな準備にも非常に協力的で、細かいトラブルはあったものの、概ね良好なプログラムとなった。次回Dr. Jeronimoが帰国した後は、11月に来日する予定のポルトガルとの3か所の接続へ向け、準備を進めることとなった。



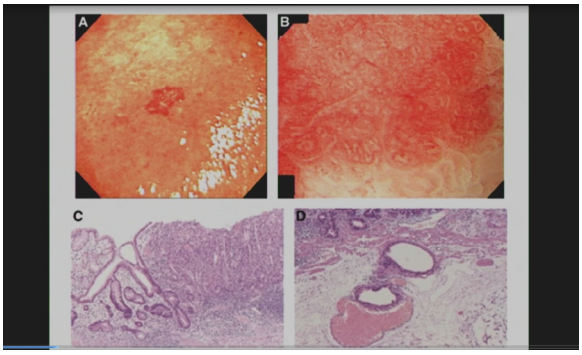
九大病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



Dr. Mario Reis Alvares-da-Silva (ポルト・アレグレ病院)。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド1。福大病院筑紫病院への研修の様子。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド2。内視鏡と病理画像。
撮影場所：九州大学病院



活動報告を行うDr. Jeronimo。
撮影場所：九州大学病院



ポルト・アレグレ病院のファビアーノ氏（エンジニア）。
撮影場所：九州大学病院

#572　第 19 回 日本遠隔医療学会大会特別企画　てんかん症例検討会　2015.10.09

【イベント名】
第 19 回 日本遠隔医療学会大会特別企画
てんかん症例検討会

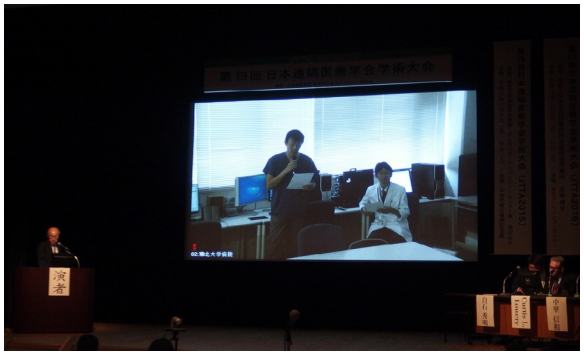
【期日】2015.10.09

【会場】東北大学（日本），仙台市戦災復興記念館（日本），北海道大学（日本），札幌医科大学（日本），気仙沼市立病院（日本），筑波大学（日本），群馬大学（日本），信州大学（日本），大芝医院（日本），京都大学（日本），徳島大学（日本），九州大学病院（日本），潤和会記念病院（日本），アルハイラート パル大学（インドネシア）

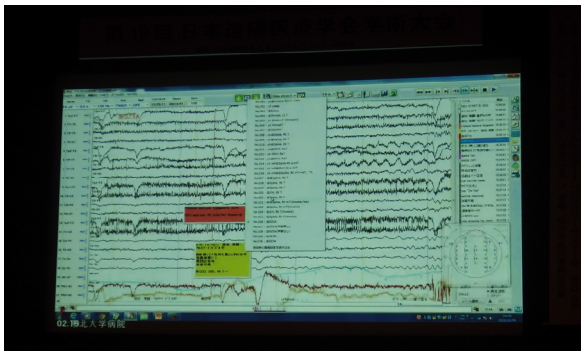
【概要】
東北大学病院てんかん科が毎月実施している症例検討会の様子を、国内 12 施設とインドネシアの Al-Khairaat 大学とを結んで公開しました。てんかんの症例検討会では病歴・発作時ビデオ・脳波・神経画像・心理評価など多数の要素を加味して治療方針を決定する必要があります。多くの医療関係者を連結することにより、診断の質が向上することはもちろん、最新のてんかん診断について学べる機会が作られます。



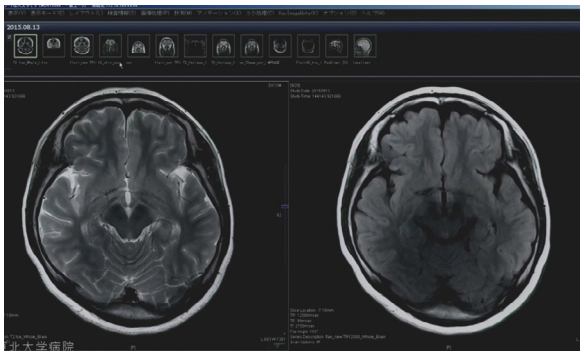
セッションの司会を務めるDr. 中里。
撮影場所：仙台市戦災復興記念館



検討会の司会を行う東北大学てんかん科。
撮影場所：仙台市戦災復興記念館



症例検討で示された脳波グラフ。
撮影場所：仙台市戦災復興記念館



症例検討で示されたMRI画像。
撮影場所：仙台市戦災復興記念館



セッションに先立って基調講演を行うDr. Lowery。
撮影場所：仙台市戦災復興記念館



遠隔参加拠点。
撮影場所：仙台市戦災復興記念館

#573　第 18 回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス　2015.10.14

【イベント名】
第 18 回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス

【期日】2015.10.14

【会場】
九州大学病院（日本),
北京協和医院（中国),
順天堂大学（日本),
南方医科大学　南方医院（中国)

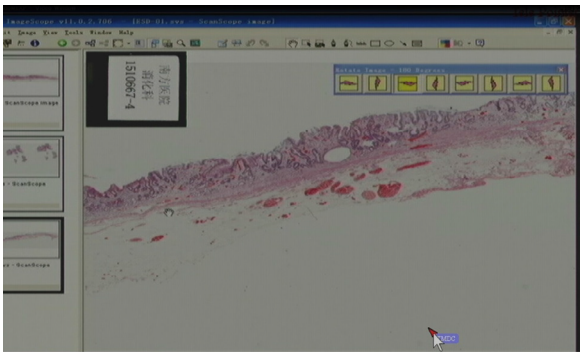
【概要】
北京協和医院をはじめとして、中国から3施設、日本から2施設の計5施設が参加した。8病院より内視鏡医や病理学者を含む医師らが参加し、中国の医師らが提示した早期胃癌の症例について協議した。計7例の症例報告があり、議論の中で多くの意見が交わされた。医師らは早期胃癌の診断や治療についてさらなる理解を深めることが出来た。



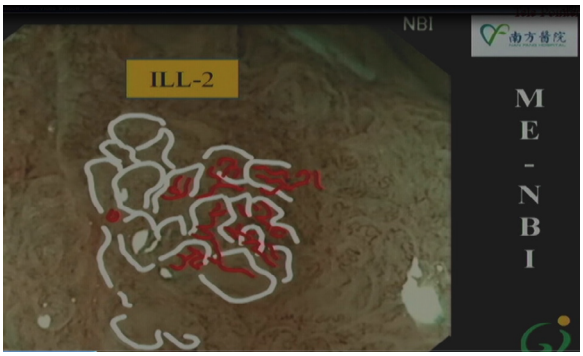
コメントするDr. 八尾(手前)。
撮影場所：九州大学病院



接続された５地点。
撮影場所：九州大学病院



テレポインターを用いた病理画像のディスカッション。
撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡画像。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院でのテレビ会議の様子。
撮影場所：九州大学病院

#574　第８回 筑波大学とチョーライ病院のテレカンファレンス　2015.10.19

【イベント名】
第８回 筑波大学とチョーライ病院の
テレカンファレンス

【期日】2015.10.02

【会場】
筑波大学（日本),
チョーライ病院（ベトナム),
108　陸軍中央病院（ベトナム),
フエ中央病院（ベトナム),
九州大学病院（日本)

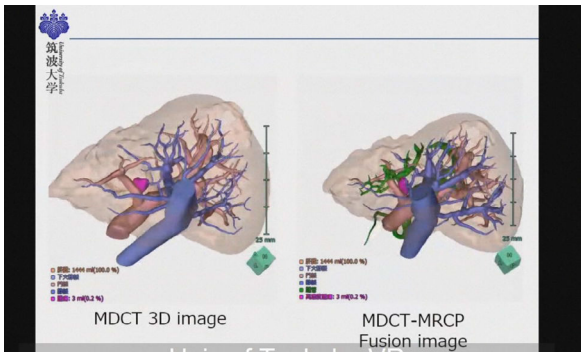
【概要】
今回はチョーライ病院に加えハノイ市の108病院、フエ中央病院が参加、九州大学病院からはベトナムからの研修生３名も参加し,５か所を結ぶカンファレンスであった。テーマは肝腫瘍で、チョーライ病院からは症例報告と肝切除術症例のまとめ、筑波大学附属病院からは術シミュレーションシステムに関する発表があり，手術の方法（手順）について等活発な討論が行われた。



コメントするDr. 秋山（中央)。
撮影場所：筑波大学



フエ中央病院での会場の様子。
撮影場所：フエ中央病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される５地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



チョーライ病院での会場の様子。
撮影場所：チョーライ病院



筑波大学での会場の様子。
撮影場所：筑波大学

#575　バングラデシュ遠隔医療シンポジウム内視鏡ライブ　2015.10.20

【イベント名】
バングラデシュ遠隔医療シンポジウム内視鏡ライブ

【期日】2015.10.20

【会場】
バンガバドゥシェイク・ムジブ医科大学（BSMMU）(バングラデシュ)

アジア消化器センター（AIG）(インド)

九州大学病院（日本）

【概要】
バングラデッシュ研究教育ネットワーク（BdREN）の主催で、初めての遠隔医療シンポジウムが開催された。1日目の午前中には韓国ソウル大学からの手術ライブが、また午後からはインドのアジア消化器センターからの内視鏡ライブデモンストレーションが企画された。マレーシアから参加したDr. Hoが内視鏡セッションのモデレータを務め、素晴らしい会となった。今後バングラデッシュとの協力を深めていきたい。



ライブデモセッションの様子。

撮影場所：BSMMU



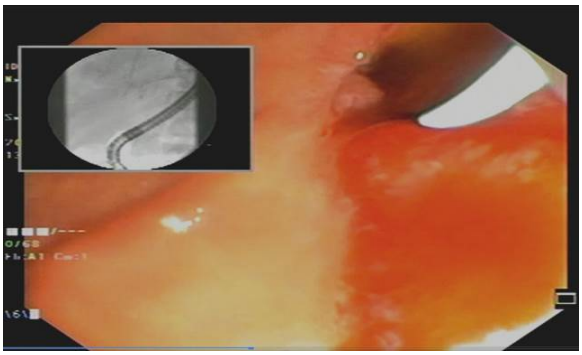
AIGでの内視鏡室の様子。

撮影場所：AIG



３地点による遠隔会議の様子。

撮影場所：BSMMU



提示された内視鏡手術の映像。

撮影場所：BSMMU



九州大学病院での会場の様子。

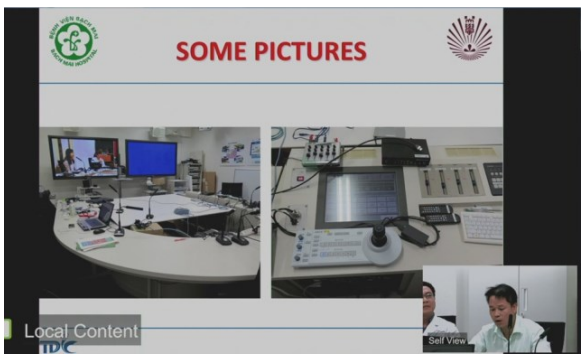
撮影場所：九州大学病院



Dr. 中島による基調講演（２日目）。

撮影場所：BSMMU

#576　ベトナムとの内視鏡、技術研修報告会　2015.10.23

【イベント名】 ベトナムとの内視鏡、技術研修報告会 【期日】2015.10.23 【会場】 九州大学病院（日本） バックマイ病院（ベトナム), 108　陸軍中央病院（ベトナム）	【概要】 ベトナムの２病院から研修に来たDr. Hoai と Dr. Viet, エンジニアリングの研修に来たPhong氏がそれぞれ帰国前の研修報告を自国の同僚に対して行った。カンファレンスの接続については障害なかった。ベトナムからの研修生はいずれも熱心であり、今後当院とのさらなる接続を切望している事より、今回このようなヒューマン・ネットワークが持てたことで、今後活動の発展に大いに期待される。
	
九州大学病院での会場の様子。 撮影場所：九州大学病院	Dr. Ngo Thi Hoai から提示されたスライド。 撮影場所：九州大学病院
	
モニタに映し出される３地点の様子。 撮影場所：九州大学病院	Dr. Tran Tuan Viet から提示されたスライド。 撮影場所：九州大学病院
	
３地点を表示しながら提示されたスライド。 撮影場所：九州大学病院	Le Hong Phong さんから提示されたスライド。 撮影場所：九州大学病院

#579　タイ、ベトナム、フィリピンとの研修報告会　2015.11.05

【イベント名】
タイ、ベトナム、フィリピンとの研修報告会

【期日】2015.11.05

【会場】
バジラ病院（タイ),
ビエット ドゥック 病院（ベトナム),
国立腎臓・移植センター（フィリピン),
九州大学病院（日本)

【概要】
タイ、ベトナム、およびフィリピンから１か月間の外科研修のために滞在した３名の医師の研修報告会を、それぞれ自施設を接続して行った。九州大学病院を含め４施設のスタッフが集まり、Dr. Suphakarn,　Dr. Hoang, Dr. Billyが、九大病院の紹介、新しく学んだ医学的な内容、また日本で経験した様々な文化的な違いなどを紹介した。音声・映像共に良好で、カジュアルな雰囲気の中で楽しい会となった。



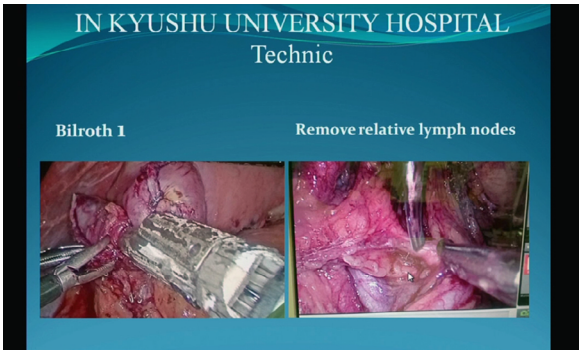
九州大学病院から研修報告を行ったDr. Suphakarn(左)。

撮影場所：九州大学病院



バジラ病院での会場の様子。

撮影場所：バジラ病院



九州大学病院での研修についての発表。

撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される４地点の様子。

撮影場所：九州大学病院



福岡の城跡について紹介したスライド。

撮影場所：九州大学病院



ビエット ドゥック 病院での会場の様子。

撮影場所：九州大学病院

#580　第 9 回 アジア遠隔医療シンポジウム　2015.11.13

【イベント名】
第 9 回 アジア遠隔医療シンポジウム

【期日】2015.11.13

【会場】
忠北大学（韓国），四川大学（中国），国立台湾大学（台湾），チョーライ病院（ベトナム），TEIN 協力センター(TEIN*CC)（韓国），ジャワハルラール 医学教育研究大学院（インド），タン トク セン病院（シンガポール），ソウル大学ブンダン病院 技師自宅；ソウル（韓国），カトマンズモデル病院（ネパール），マラヤ大学（マレーシア），九州大学病院（日本）

【概要】
平成27年11月13日、14日に韓国・清州市にある忠北大学病院にて第9回アジア遠隔医療シンポジウムが開催された。14施設の遠隔参加に加え、14か国から150人以上もの参加者が一堂に会し、様々な発表が行われた。1日目の午後からは第2回アジア病院長会議として、感染症に対するアジア全体の協力について議論した。夜は自己紹介を兼ねた懇親会を楽しんだ。



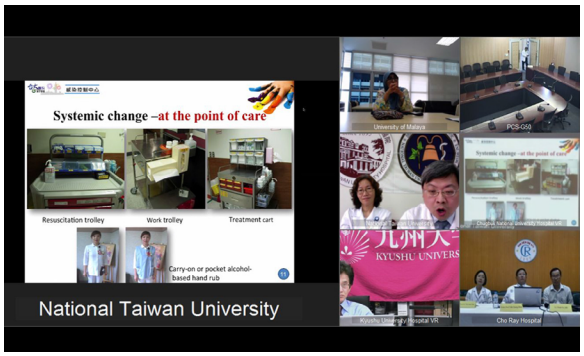
メイン会場となった忠北大学。
撮影場所：忠北大学



忠北大学長からの開会挨拶。
撮影場所：忠北大学



メインホールの様子。
撮影場所：忠北大学



モニタに映し出されるスライドと 6 地点の様子。
撮影場所：忠北大学



会場の参加者からの質疑応答の様子。
撮影場所：忠北大学



懇親会で交流を深める参加者たち。
撮影場所：忠北大学

#582　第 6 回 内視鏡クラブ　E-カンファレンス　2015.11.18

【イベント名】
第 6 回 内視鏡クラブ　E-カンファレンス

【期日】2015.11.18

【会場】
マラヤ大学 (マレーシア), ライエル マクユーイング 病院 (オーストラリア), チャンギ総合病院 (シンガポール), タントク セン病院 (シンガポール), ディーナナス・マンゲッシュカー病院 (インド), 肝胆道科学センター (インド), アジア消化器センター (インド), チョーライ病院 (ベトナム), 香港中文大学プリンスオブウェールズ病院 (香港), チュラロンコン大学 (タイ), バジラ病院 (タイ), アイルランガ大学 (インドネシア), ノボシビルスク州立医科大学 ノボシビルスク州地域病院 (ロシア), 名古屋大学 (日本), 九州大学病院 (日本)

【概要】
アジア太平洋地域という枠を越えさまざまな施設を魅了したという点で、本会議は大きな成功を収めたと言える。非常に興味深く、治療が困難なありとあらゆる症例が提示された。さまざまな手技が議論される中、症例報告の中には患者管理における最善の方針を提示するものもあった。オーディオとビデオの品質は開催初期より大幅に改善され、今後より多くの施設が参加することで、この会議はさらに発展するだろう。



チュラロンコン大学での会場の様子。
撮影場所：チュラロンコン大学



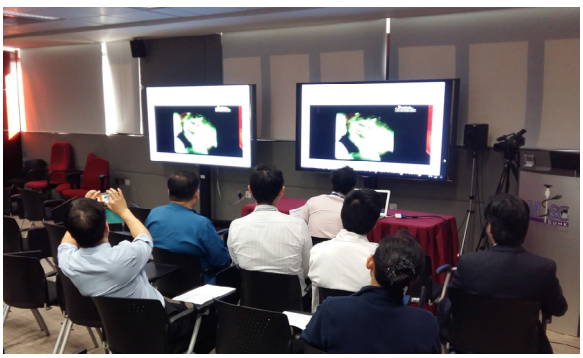
肝胆道科学センターでの会場の様子。
撮影場所：肝胆道科学センター



提示された病理画像のスライド。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される14地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



香港中文大学プリンスオブウェールズ病院での会場の様子。
撮影場所：香港中文大学プリンスオブウェールズ病院



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院

#583　第７回 ラテンアメリカテレカンファレンス　2015.11.19

【イベント名】
第７回 ラテンアメリカテレカンファレンス

【期日】2015.11.19

【会場】
サンパウロ大学（ブラジル），バレトス がん病院（ブラジル），ブラジル研究教育ネットワーク 遠隔医療部門（RUTE）（ブラジル），大阪府立成人病センター（日本），アレマナ病院（チリ），ゴンザレス総合病院（メキシコ），セドナ病院（メキシコ），カリ・ザビエル大学（コロンビア），ボゴタ・ザビエル大学（コロンビア），コスタ・リカ大学（コスタリカ），九州大学病院（日本）

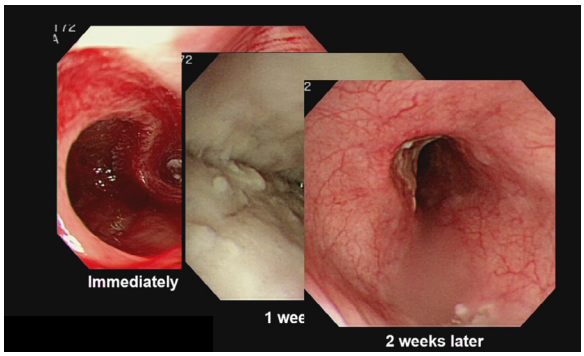
【概要】
本遠隔会議では、中南米において依然として非常に重要な疾患の一つである食道扁平上皮癌についての議論が行われ、疫学、スクリーニング、早期診断や内視鏡治療など、あらゆるトピックを検討した。
以前に比べ技術的な状況が改善されたために、この度の素晴らしい会議が実現し、議論の質の向上につながった。
次回会議のさらなる発展に期待したい。



主催者であるDr. Sakai（中央）。
撮影場所：九州大学病院



ゴンザレス総合病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡画像。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される１１地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



カリ・ザビエル大学での会場の様子。
撮影場所：カリ・ザビエル大学



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院

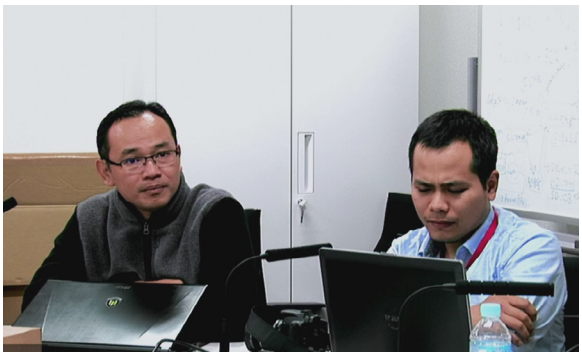
#584　マレーシアとの技術研修報告会　2015.11.19

【イベント名】
マレーシアとの技術研修報告会

【期日】2015.11.19

【会場】
マレーシアプトラ大学（マレーシア),
マラヤ大学（マレーシア),
九州大学病院（日本）

【概要】
マレーシアプトラ大学から遠隔医療技術トレーニング招聘プログラムに参加したRafizanさんが２週間のトレーニングの成果についてプレゼンテーションを行った。本テレカンファレンスはRafizanさんの施設とマレーシアの基幹施設であるマラヤ大学が接続され、自施設とのコーディネートや接続テストはすべてRafizanさん自身が行った。マラヤ大学からは技術担当のHelmyさんらエンジニアチームが参加し、和やかな会となった。



九州大学病院から研修報告を行ったMr. Rafizan (左)。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での研修についての発表。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される３地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



新幹線について紹介したスライド。
撮影場所：九州大学病院



テレカンファレンスはカジュアルな雰囲気で進められた。
撮影場所：九州大学病院

#585　ポルトガル、プラジルとの内視鏡研修報告会　2015.11.20

【イベント名】
ポルトガル、プラジルとの内視鏡研修報告会

【期日】2015.11.20

【会場】
ポルト大学 医学部, サン ジョアン中央病院 (ポルトガル), リオグランデ・ド・スル連邦大学 ポルト・アレグレ病院 (ブラジル), 九州大学病院（日本）

【概要】
ポルトガルとブラジルとの初めてのテレカンファランスを実施した。音声や映像に関する技術的問題はなかった。Dr. Anaの研修のプレゼンテーションについて議論が盛り上がった。ポルトガルで実施したと思われるスパイグラスの映像が極めて鮮明であり、ヨーロッパ諸国の高い臨床レベル表したプレゼンテーションであった。今後も各地点間におけるコミュニケーションの継続が期待される。



九州大学病院から研修報告を行ったDr. Ana (中央)。
撮影場所：九州大学病院



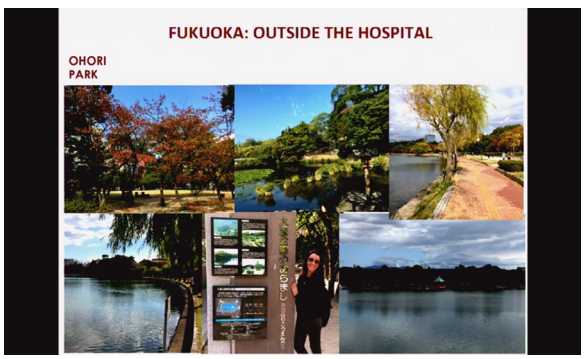
ポルト大学での会場の様子。
撮影場所: ポルト大学



九州大学病院での研修についての発表。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される３地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



福岡の観光スポットについて紹介したスライド。
撮影場所：九州大学病院



ポルト・アレグレ病院での会場の様子。
撮影場所：ポルト・アレグレ病院

#586　フィリピンとの内視鏡、外科研修報告会　2015.11.27

【イベント名】
フィリピンとの内視鏡、外科研修報告会

【期日】2015.11.27

【会場】
国立腎臓・移植センター（フィリピン),
フィリピン大学　マニラ総合病院（フィリピン),
九州大学病院（日本）

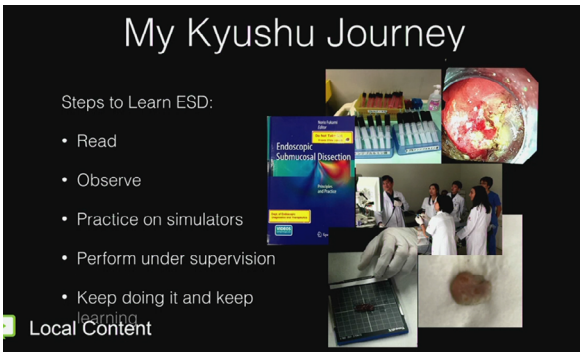
【概要】
フィリピンから１か月の研修に訪れていたDr. AnthonyとDr. Naranjoが、自分の病院を接続してそれぞれ内視鏡と外科に関する帰国前の研修報告を行った。特に国立腎臓・移植センターは２人が勤務していることもあり、またつい先日まで九大で研修していたDr. Billyも参加し多くの聴衆が集まった。マニラ総合病院にはDr. Anthonyの教え子たちが揃い、２人の発表に耳を傾けていた。このような研究後の報告会は、今後も是非続けて行きたい。



研修報告を行ったDr. Naranjo(左)とDr. Anthony(右)。
撮影場所：九州大学病院



国立腎臓・移植センターでの会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での研修についての発表。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される３地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



日本食について紹介したスライド。
撮影場所：九州大学病院



マニラ大学総合病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院

#587　ベトナムとの内視鏡、技術研修報告会　2015.11.27

【イベント名】
ベトナムとの内視鏡、技術研修報告会

【期日】2015.11.27

【会場】
九州大学病院（日本), 108 陸軍中央病院（ベトナム), バックマイ病院（ベトナム), フエ中央病院（ベトナム), NASATI オフィス (ベトナム), ビエット ドゥック 病院 (ベトナム), E ホスピタル（ベトナム)

【概要】
ベトナムからトレーニング招聘プログラムに参加した内視鏡医のDr. Anhとエンジニアの Mr. Quyがトレーニングの成果についてプレゼンテーションを行った。接続実績のあるベトナムの6つの病院とベトナムの学術ネットワーク組織が接続され、自施設とのコーディネートや接続テストはすべてMr. Quyが行った。接続の状況は非常によく、今後のベトナムにおける活動の広がりが楽しみである。



研修報告を行ったDr. Anh (左)とMr. Quy (右)。
撮影場所：九州大学病院



フエ中央病院での会場の様子。
撮影場所：フエ中央病院



九州大学病院での研修についての発表。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出されるスライドと８地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



福岡の神社について紹介したスライド。
撮影場所：九州大学病院



108 陸軍中央病院での会場の様子。
撮影場所: 108 陸軍中央病院

#590　中国との内視鏡研修報告会　2015.12.15

【イベント名】
中国との内視鏡研修報告会

【期日】2015.12.15

【会場】
九州大学病院（日本),
上海交通大学第一人民病院虹口分院（中国),
上海交通大学第一人民病院松江分院（中国）

【概要】
上海交通大学２病院と九大とのテレカンファランスを実施した。音声や映像に関する技術的問題はなかった。Dr. Luの研修報告に加え、上海交通大学第一人民病院松江分院からのプレゼンテーションに対する活発な議論がなされ、非常に内容の濃い研修報告になった。複数人の研修報告は一方通行になりがちであるが、今回は相互方向デスカッションが行え、素晴らしいテレカンファランスとなった。



九州大学病院から研修報告を行ったDr. Lu (左)。
撮影場所：九州大学病院



上海交通大学第一人民病院松江分院での会場の様子。
撮影場所：上海交通大学第一人民病院松江分院



九州大学病院での研修についての発表。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される２地点の様子。
撮影場所：九州大学病院

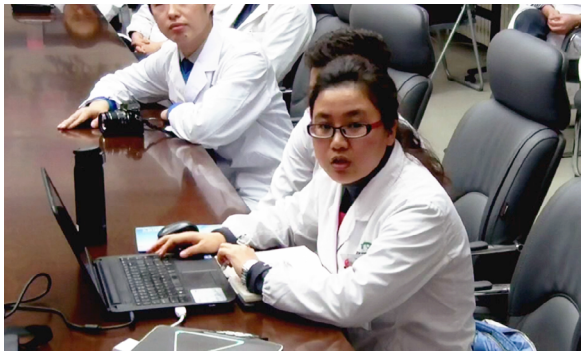
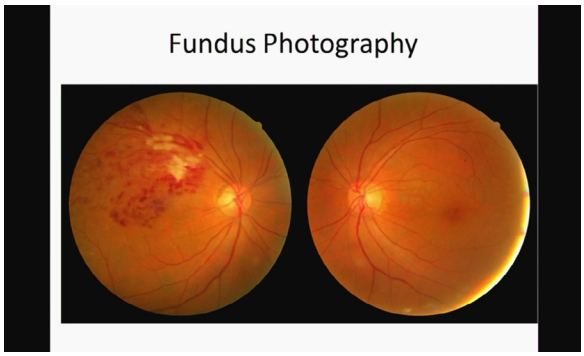
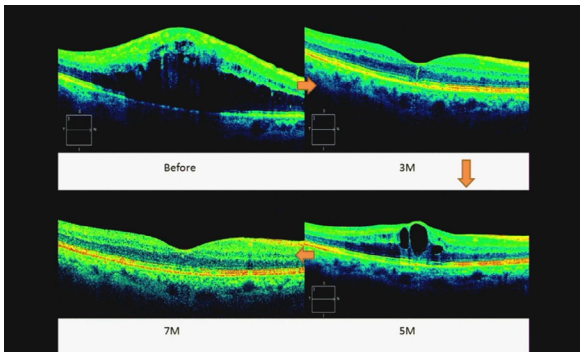


日本食について紹介したスライド。
撮影場所：九州大学病院



上海交通大学第一人民病院虹口分院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院

#591　何大学とのテレカンファレンス　2015.12.18

【イベント名】 何大学とのテレカンファレンス 【期日】2015.12.18 【会場】 九州大学病院（日本), 遼寧何氏医学院（中国)	【概要】 九州大学と中国遼寧何氏医学院との国際学術協定に基づき、両大学眼科間での症例検討会を行った。両大学から興味ある症例を1例ずつプレゼンし、活発な議論を行った。九大の症例は網膜静脈閉塞症の分子標的治療プロトコルについて、日中間の違いについて意見交換した。中国遼寧何氏医学院の症例は難治性緑内障について適切な手術治療法について議論した。
	
遼寧何氏医学院から発表を行ったDr. Lin。 撮影場所：九州大学病院	モニタに映し出される２地点の様子。 撮影場所：遼寧何氏医学院
	
提示された眼底画像。 撮影場所：九州大学病院	提示されたOCT画像。 撮影場所：九州大学病院
	
九州大学病院での会場の様子。 撮影場所：九州大学病院	遼寧何氏医学院での会場の様子。 撮影場所：遼寧何氏医学院

#593　超音波内視鏡テレカンファレンス　2015.12.24

【イベント名】
超音波内視鏡テレカンファレンス

【期日】2015.12.24

【会場】
チュラロンコン大学（タイ),
埼玉医科大学（日本),
愛知県がんセンター（日本),
東京大学（日本),
シンガポール総合病院（シンガポール),
九州大学病院（日本)

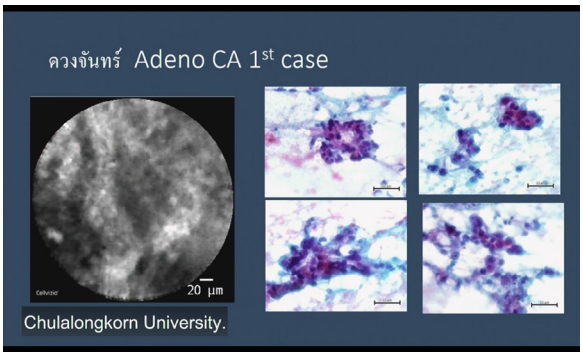
【概要】
日本の４つの施設とタイ、シンガポールを結んでの初めての超音波内視鏡テレカンファランスを実施した。一部の施設で接続に関する技術的問題が発生した。プラダムチャイ医師のレクチャーは我々日本人には馴染みの浅い共焦点内視鏡に関するものであったため、初歩的な質問を行うのみでディスカッションには至らなかった。今後の継続的なカンファランスの実施で、双方向のコミュニケーションが深まる題材の選択が望まれる。



チュラロンコン大学での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



埼玉医科大学から参加したDr. 良沢(右)。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される５地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



東京大学から参加したDr. 伊佐山(左)。
撮影場所：九州大学病院

#594　ロシアナースカンファレンス　2016.01.12

【イベント名】
ロシアナースカンファレンス

【期日】2016.01.12

【会場】
九州大学病院（日本),
筑波大学（日本),
ノボシビルスク州立医科大学　ノボシビルスク州地域病院（ロシア）

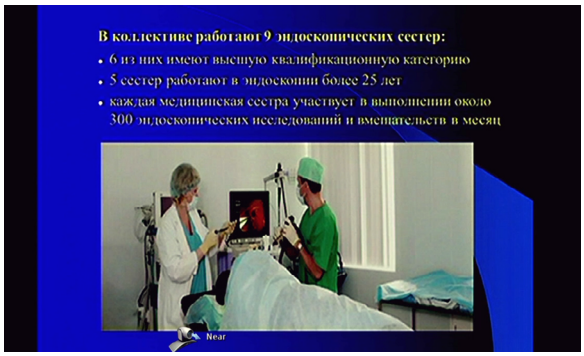
【概要】
日本とロシアを接続した初めてのナースカンファランスが実施された。接続の問題があったが、事前にロシア語のスライド用意した上で、筑波大学のDr. Alexによるロシア語翻訳のサポートのおかげで、コミュニケーションがスムーズであった。ロシアの看護師は多数の業務を兼任しながら年間２万件の内視鏡を実施しており、当院の業務改善にも参考になる点が多いと感じた。今後の継続的交流による情報交換が望まれる。



ノボシビルスク州地域病院での会場の様子。
撮影場所：ノボシビルスク州地域病院



モニタに映し出される３地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



ノボシビルスク州地域病院から提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



筑波大学から提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



筑波大学での会場の様子。
撮影場所：筑波大学

#595　第 19 回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス　2016.01.13

【イベント名】
第 19 回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス

【期日】2016.01.13

【会場】
九州大学病院（日本),
北京協和医院（中国),
復旦大学中山病院（中国),
順天堂大学（日本),
南方医科大学　南方医院（中国）

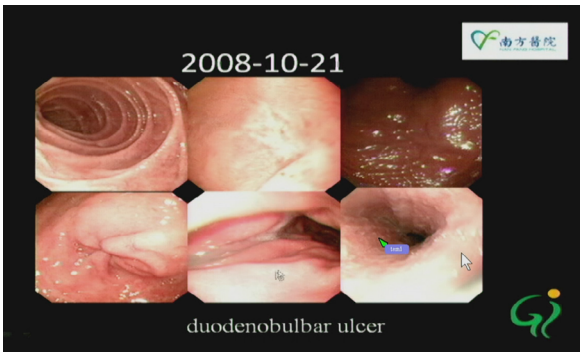
【概要】
中国４病院と九大との早期胃癌カンファレンスを実施した。音声や映像に関する技術的問題はなかった。
５症例がカンファレンスとして実施され、病理診断が食い違う事が多いため日本と中国の診断用語の意味を相互に確認する場面が多かった。相方向ディスカッションが行え、素晴らしいテレカンファレンスという印象であった。



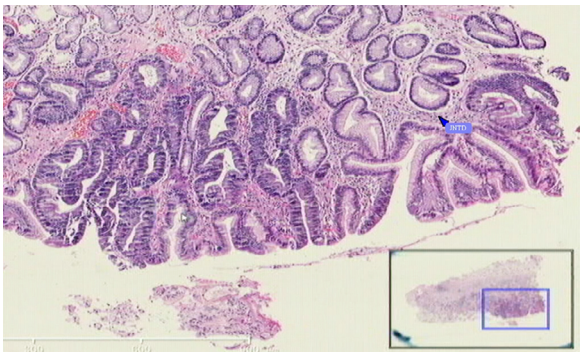
九州大学病院からコメントするDr. 八尾。
撮影場所：九州大学病院



モニタに映し出される５地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡画像。
撮影場所：九州大学病院



テレポインターを用いた病理画像のディスカッション。
撮影場所：九州大学病院



復旦大学中山病院での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院



順天堂大学での会場の様子。
撮影場所：九州大学病院

#597　第 41 回 APAN 会議 テクノロジー 2　　2016.01.25

【イベント名】
第 41 回 APAN 会議 テクノロジー 2

【期日】2016.01.25

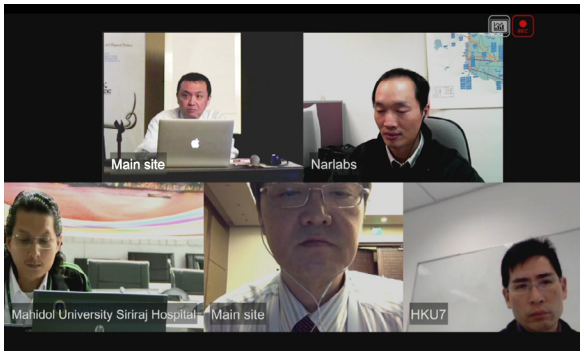
【会場】
マリオット ホテル マニラ（フィリピン),
九州大学病院（日本),
香港大学（香港),
国家実験研究院（台湾）

【概要】
遠隔会議システムにおいては、参加者が会話を成立させるための画像と音声以外に、情報共有を助けるツールがあると会議進行を向上させる。テクノロジー2では、TEMDECとユニゾンシステムズで共同開発を行っているFOOTAGEシステムを紹介した。セッション中にGoogle Formによるライブアンケートをとり、セッション参加者に対して、ツールが遠隔会議の助けとなることを理解されたことがわかった。



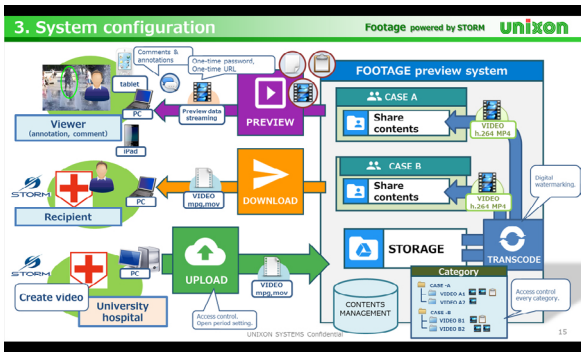
司会を務める主催者のMr. 北村。

撮影場所：マリオット ホテル マニラ



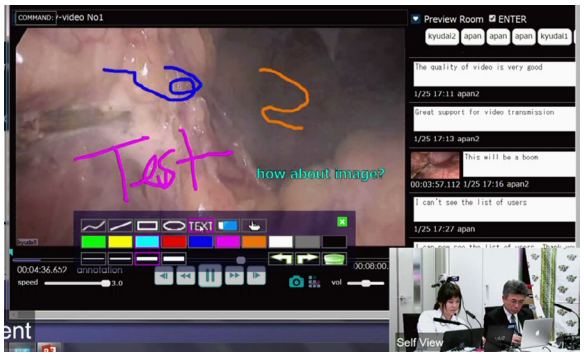
モニタに映し出される５地点の様子。

撮影場所：九州大学病院



提示された動画転送システムについてのスライド。

撮影場所：九州大学病院



動画転送システムのデモンストレーションの様子。

撮影場所：九州大学病院



メイン会場の様子。

撮影場所：マリオット ホテル マニラ



質問を行う会場の参加者。

撮影場所：マリオット ホテル マニラ

#599　第 41 回 APAN 会議 歯科　　2016.01.26

【イベント名】
第 41 回 APAN 会議 歯科

【期日】2016.01.26

【会場】
マリオット ホテル マニラ（フィリピン),
九州大学病院（日本),
鹿児島大学（日本),
愛知学院大学（日本),
ハラパンキタ小児医療センター（インドネシア),
アイルランガ大学（インドネシア),
インドネシア大学（インドネシア）

【概要】
３回目となった歯科セッションは前回と同様にインドネシアから３施設と日本からは九大を中心として、鹿児島大学、九州歯科大学、新たに愛知学院大学が参加した。今回は片側性の口唇形成術の術式について、動画を用いたプレゼンテーションとディスカッションが行われた。インドネシアの１施設で接続状態の問題が生じたが、インドネシアの他の施設では問題なく、個別のトラブルのようであった。今後も口唇口蓋裂の術式について、動画を用いたセッションを継続していくことが確認された。



コメントする九州歯科大学のDr. 笹栗。

撮影場所：九州大学病院



アイルランガ大学での会場の様子。

撮影場所：アイルランガ大学



ハラパンキタ小児医療センターでの会場の様子。

撮影場所：マリオット ホテル マニラ



モニタに映し出されるスライドと７地点の様子。

撮影場所：九州大学病院



メイン会場の様子。

撮影場所：マリオット ホテル マニラ



九州大学病院での会場の様子。

撮影場所：九州大学病院

#602　第 41 回 APAN 会議 内視鏡 (第 7 回 内視鏡クラブ　E-カンファレンス)　2016.01.27

【イベント名】
第 41 回 APAN 会議 内視鏡
(第 7 回 内視鏡クラブ　E-カンファレンス)

【期日】2016.01.27

【会場】
マリオット ホテル マニラ (フィリピン), マラヤ大学 (マレーシア), ライエル　マクユーイング　病院 (オーストラリア), ディーナナス・マングッシュカー病院 (インド), 肝胆道科学センター (インド), アジア消化器センター (インド), タタ記念病院 (インド), チョーライ病院 (ベトナム), チャンギ総合病院 (シンガポール), パタン健康科学専門学校 (ネパール), チュラロンコン大学 (タイ), バジラ病院 (タイ), アイルランガ大学 (インドネシア), 名古屋大学 (日本), 近畿大学 (日本), 九州大学病院 (日本)

【概要】
APANでの内視鏡クラブE-カンファレンスが2016年最初のECEとなった。会は好評で１５の施設が参加した。様々な意義ある討論と経験談の交換がなされた。しかし未だに会議中、些細な技術的障害がある。発言しないときにマイクを消音にしておくことや、発表資料共有の方法を習得する事は、成功と呼べるテレビ会議に慣れていくための小さな技術的要点である。



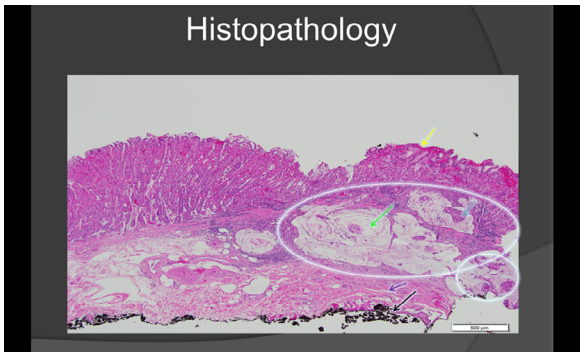
コメントする司会のDr. Ho (左)。
撮影場所：マリオット ホテル マニラ



モニタに映し出される８地点の様子。
撮影場所：バジラ病院



提示された内視鏡画像。
撮影場所：九州大学病院



提示された病理画像のスライド。
撮影場所：九州大学病院



チョーライ病院での会場の様子。
撮影場所：チョーライ病院



ブラウィジャヤ大学での会場の様子。
撮影場所：ブラウィジャヤ大学

#604　第 41 回 APAN 会議 エンジニアワークショップ　2016.01.29

【イベント名】
第 41 回 APAN 会議 エンジニアワークショップ

【期日】2016.01.29

【会場】
マリオット ホテル マニラ（フィリピン），メキシコ国立自治大学　医師自宅:メキシコシティ（メキシコ），九州大学病院（日本），ソウル大学ブンダン病院（韓国），
マラヤ大学（マレーシア），マヒドン大学シリラ病院（タイ），フエ中央病院（ベトナム），NASATI オフィス（ベトナム）

【概要】
APAN最終日に一日かけて本ワークショップを行った。会場からは招聘されたエンジニアとドクターの研修者と指導者が参加し、７つの遠隔施設からの参加もあった。
APANレビューセッションでは、今回行われた医療ワーキンググループ各セッションのチーフエンジニアから技術的な内容のレビューが行われた。その後は各病院の紹介や問題点などを議論した。参加者からたくさんの意見や質問が出て、会は大変盛り上がった。



開会挨拶を行う九州大学病院のDr. 清水。
撮影場所：マリオット ホテル マニラ



モニタに映し出されるスライドと７地点の様子。
撮影場所：マリオット ホテル マニラ



発表を行うインドネシア大学のDr. Aria。
撮影場所：マリオット ホテル マニラ



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



メイン会場での質疑応答の様子。
撮影場所：マリオット ホテル マニラ



メイン会場に集まった各国のエンジニア達。
撮影場所：マリオット ホテル マニラ

#605　第 61 回 神奈川胎児エコー研究会 アドバンス講座　2016.01.30

【イベント名】
第 61 回 神奈川胎児エコー研究会 アドバンス講座

【期日】2016.01.30

【会場】
東京大学，旭川医科大学，弘前大学，岩手医科大学，
東北大学，山形大学，群馬大学，新潟大学，窪谷産婦人科，
三重大学，滋賀医科大学，大阪大学，岡山大学，広島大学，
愛媛大学，高知大学，九州大学病院，宮崎大学，
鹿児島大学，琉球大学（すべて日本）

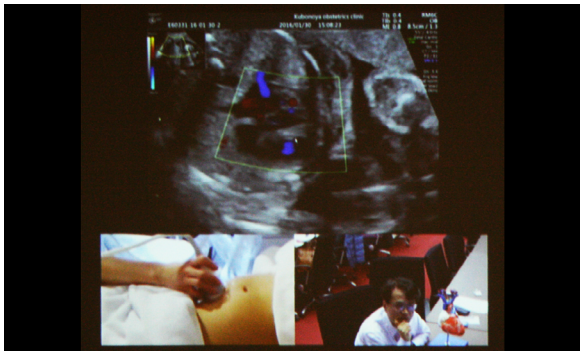
【概要】
重症先天性心疾患の胎児診断率向上を目的とした講座を開催。産科医、検査技師、小児科医など幅広い職種の500人以上が参加。昨年好評の症例クイズ、地方のクリニックでの胎児心エコー検査を遠隔会場から指導する遠隔ハンズオンが高い評価を得た。SINETにより全国の大学をつないだ本セミナーは、地域格差是正を願う遠隔会場から高い支持を得て、19大学まで拡大。台湾、中国からも要望が強く、録画に中国語の字幕をつけて利用する予定。



東京大学での会場の様子。
撮影場所：東京大学



東北大学での会場の様子。
撮影場所：東北大学



窪谷産婦人科からのエコー画像ライブ配信の様子。
撮影場所：九州大学病院



スクリーンに映し出される１７地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院から発表を行うDr. 前野。
撮影場所：九州大学病院



広島大学での会場の様子。
撮影場所：広島大学

#606　第 5 回 内視鏡外科チームテレカンファレンス　2016.02.06

【イベント名】
第 5 回 内視鏡外科チームテレカンファレンス

【期日】2016.02.06

【会場】
北海道大学，ジョンソン・エンド・ジョンソン東京サイエンスセンター，順天堂大学，近畿大学，名古屋大学，九州大学病院，福井赤十字病院（すべて日本）

【概要】
第 5 回を迎えたチームテレカンファレンスが開催された。医師・看護師・臨床工学技士などが日本全国 7 か所をつないで発表・討論をした。今回は約280人の参加の上、内視鏡外科手術における安全管理を主題に、体位や機器の点検整備などチームでどのように安全に努めているかを討議した。使用機器の多い内視鏡外科手術においてこそ、臨床工学技士も参画し全チームで行うことの必要性が再確認された。



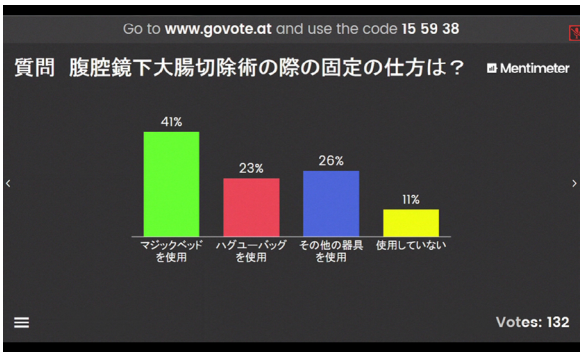
近畿大学からコメントするDr.今本。
撮影場所：九州大学病院



スクリーンに映し出される 7 地点の様子。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



参加者へのアンケート結果がリアルタイムに表示された。
撮影場所：九州大学病院

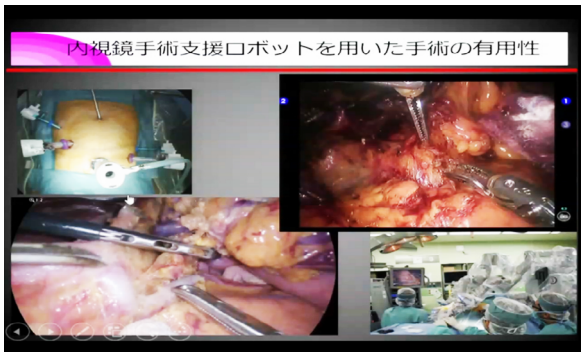


北海道大学での会場の様子。
撮影場所：北海道大学



名古屋大学での会場の様子。
撮影場所：名古屋大学

#607　ロボット手術テレカンファレンス　2016.02.17

【イベント名】 ロボット手術テレカンファレンス 【期日】2016.02.17 【会場】 ホテル日航福岡（日本), マヒドン大学シリラ病院（タイ), セントルークス医療センター（ケソン市）（フィリピン), チョーライ病院（ベトナム）	【概要】 福岡市の国家戦略特区事業からの要請を受けた形で、日本で初めてとなる臨床教授制度により招聘された韓国延世大学WJ Hyung教授による特別講演が開催された。胃癌に対するロボット手術の第1人者による手術が九大病院で行われ、その様子も交えながら豊富な経験が紹介された。講演会の様子は同時に海外にも発信され、今後福岡からの国際化をリードする記念すべき会は成功裏に終了した。
	
ホテル日航福岡での会場の様子。 撮影場所：ホテル日航福岡	開会挨拶を行う石橋九州大学病院長。 撮影場所：ホテル日航福岡
	
胃癌ロボット手術についてのスライド。 撮影場所：九州大学病院	スクリーンに映し出される４地点の様子。左はフィリピン。 撮影場所：九州大学病院
	
司会を務めるDr. 中村(左)とDr. 清水(右)。 撮影場所：ホテル日航福岡	マヒドン大学シリラ病院での会場の様子。 撮影場所：九州大学病院